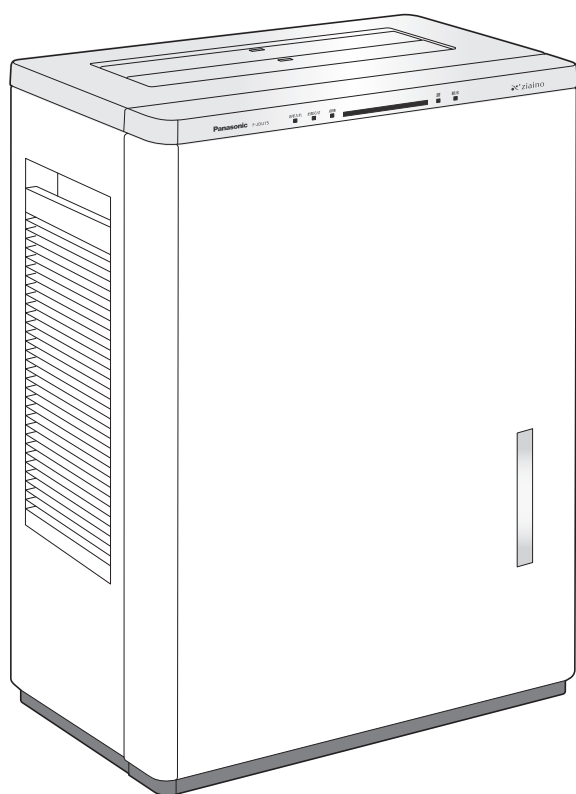


取扱説明書



業務用 次亜塩素酸 空間除菌脱臭機

品番 **F-JDU75**
F-JDU55



保証書別添付

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(4～6ページ)を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

もくじ	ページ
安全上のご注意……………	4
設置するときのお願い……………	7
使用上のお願い……………	7
各部の名前……………	8
準備する……………	12
使い方……………	14
お手入れする……………	16
・長期間使わないときは……………	24
・各部品の交換の目安……………	24
電極ユニットを交換するとき……………	25
もっと知りたいとき……………	26
フロートが外れたとき……………	27
よくあるお問い合わせ……………	27
故障かな!?……………	28
・表示部コード一覧……………	29
保証とアフターサービス……………	31
別売品……………	31
仕様……………	裏表紙

確認・準備

使い方

お手入れ

必要なとき

■ 本製品はメンテナンス契約を推奨しております。

業務用ジアイーノ アフターサービス
詳しくはこちら



パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「商品登録」をお願いします

特典

- お持ちの家電商品、消耗品情報が一元管理できる!
- 登録商品に関するお知らせやサポート情報が入手できる!
- 登録者限定のキャンペーンに参加できる!

詳しくはこちら
<https://club.panasonic.jp/aiyo/>



次亜塩素酸で空気を洗う。

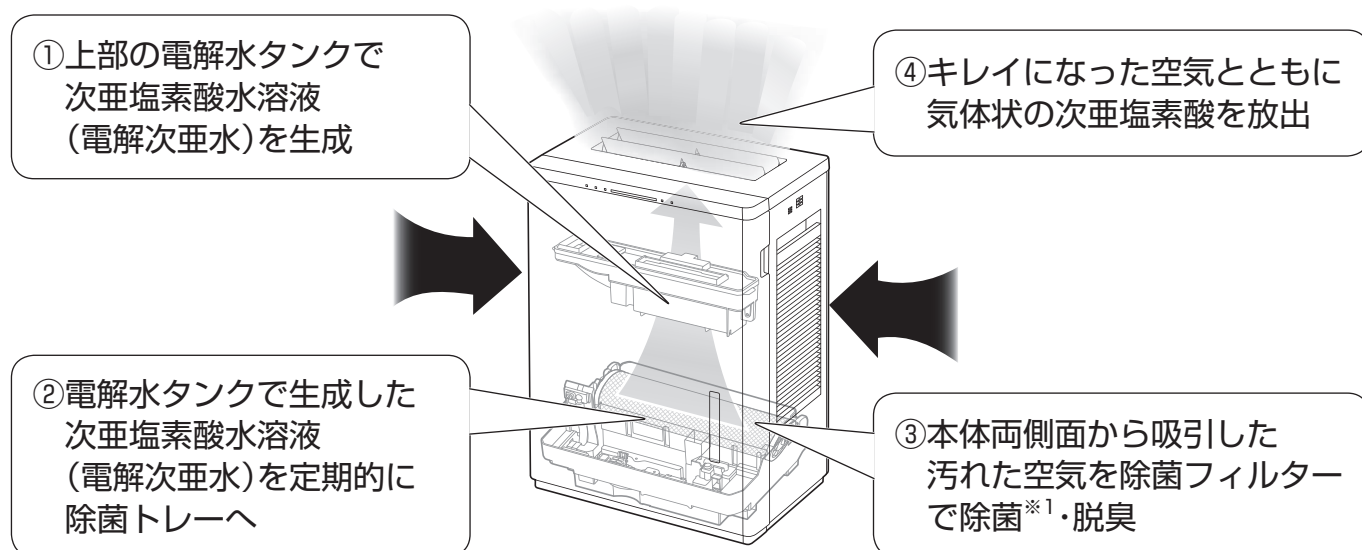


ジアイーノ

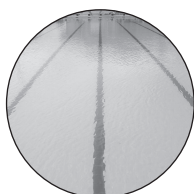
「ジアイーノ(次亜塩素酸 空間除菌脱臭機)」は、食塩水を電気分解することで「次亜塩素酸」を生成して、除菌★・脱臭をします。

★＜浮遊菌＞約6畳の密閉空間における、F-JDU75 約10分後、F-JDU55 約12分後の効果※¹
＜付着菌＞約18畳の試験空間における、F-JDU75 約45分後、F-JDU55 約60分後の効果※²

本製品のしくみ



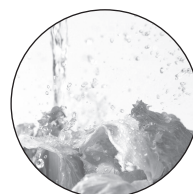
「次亜塩素酸」は、プールの除菌、水道水の浄化、野菜の洗浄などで活用されています。



プールの除菌



水道水の浄化



食材の洗浄

数値は、実際の使用空間での試験結果ではありません。使用環境・お部屋の条件により効果は異なります。
脱臭効果は、周囲環境(温度・湿度)、運転時間、臭気によって異なります。

※1 ＜浮遊菌＞

(F-JDU75)

試験機関 : 一般財団法人 北里環境科学センター

試験方法 : 約6畳の密閉空間に浮遊させた菌数の変化を測定

除菌の方法 : 風量「強」・チャージレベル「高」で運転

対象 : 浮遊した菌

試験結果 : 10分後に99%以上抑制

報告書番号 : 北生発 2021_1230 号

(F-JDU55)

試験機関 : 一般財団法人 北里環境科学センター

試験方法 : 約6畳の密閉空間に浮遊させた菌数の変化を測定

除菌の方法 : 風量「強」・チャージレベル「高」で運転

対象 : 浮遊した菌

試験結果 : 12分後に99%以上抑制

報告書番号 : 北生発 2021_0230 号

※2 ＜付着菌＞

(F-JDU75)

試験機関 : 一般財団法人 北里環境科学センター

試験方法 : 約18畳の試験空間でシャーレに付着させた菌数の変化を測定

除菌の方法 : 風量「強」・チャージレベル「高」で運転

対象 : シャーレに付着した菌

試験結果 : 45分後に99%以上抑制

報告書番号 : 北生発 2021_0370 号

(F-JDU55)

試験機関 : 一般財団法人 北里環境科学センター

試験方法 : 約18畳の試験空間でシャーレに付着させた菌数の変化を測定

除菌の方法 : 風量「強」・チャージレベル「高」で運転

対象 : シャーレに付着した菌

試験結果 : 60分後に99%以上抑制

報告書番号 : 北生発 2021_1370 号

普段の使い方は・・・

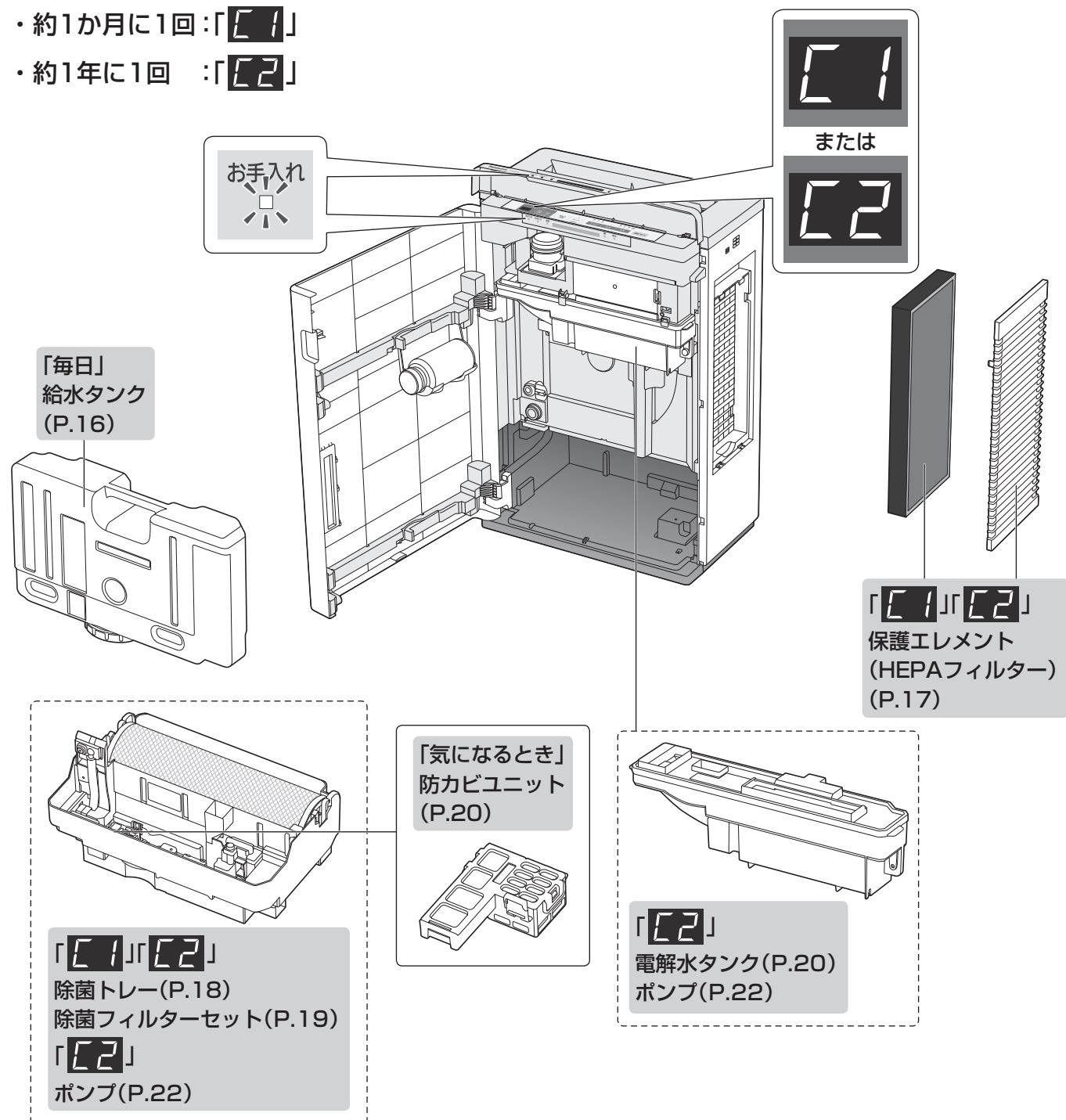
本体から給水タンクを取り出し、水を入れて、本体に戻し **運転 切/入** を押す。

- 水がなくなったら、給水タンクを取り出し、再度、水を入れて本体に戻してください。
- 「**[1]**」が表示されたら、塩タブレットを補充してください。(約1か月に1回(1日約2個使用します))

お手入れは・・・

お手入れのタイミングは前面表示部のお手入れ確認ランプと操作パネル表示部のコード(**[1]**、**[2]**)でお知らせします。

- ・ 約1か月に1回 : 「**[1]**」
- ・ 約1年に1回 : 「**[2]**」



確認・準備

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

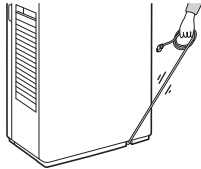


警告

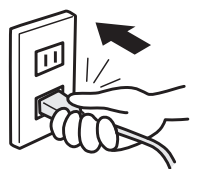
■ 火災や感電などを防ぐために



■ 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
(コードが断線して、ショートなどによる感電や火災の原因)



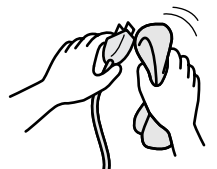
■ 電源プラグは、根元まで差し込む
(差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因)
・ 傷んだ電源プラグや、ゆるんだコンセントは使わない。



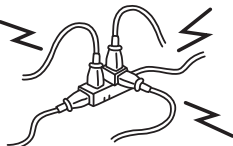
■ 電源コードや電源プラグを破損するようなことはしない
・ 傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、重いものを載せるなど。
(ショートなどによる感電や火災の原因)
修理は、販売店またはメンテナンス契約会社にご相談ください。



■ 電源プラグのホコリなどは、定期的に取り除く
(ホコリがたまり、湿気などで絶縁不良による火災の原因)
・ 電源プラグを抜き、乾いた布でふく。
・ 長期間使わないときは、電源プラグを抜く。



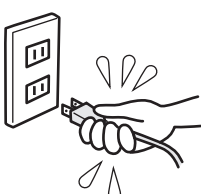
■ コンセントや配線器具の定格を超える使い方や交流100V以外で使わない
(たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因)



■ お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に作動して、感電やけがの原因)



■ 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししない
(電源プラグや手に付いた水で感電の原因)



■ 電極ユニットは分解しない
(分解すると電極板などでけがの原因)



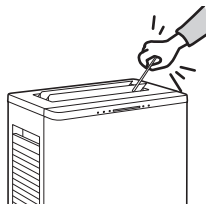
■ 酸性の洗剤やクエン酸は使わない
(有害な塩素ガスが発生し、健康を害する原因)



警告



■吸気口や吹出口、
すき間に指や
金属物などの
異物を入れない
(内部に触れると、
感電やけがの原因)



■水につけたり
水をかけたりしない
(ショートなどによる
感電や火災の原因)



■分解や修理、改造をしない
(発火や異常作動による、感電や火災
の原因)
修理は、販売店またはメンテナンス契
約会社にご相談ください。



■異常・故障時には直ちに使用を
中止し、電源プラグを抜く

(感電・発火・発煙の原因)

＜異常・故障例＞

- ・水漏れする。
- ・電源コードを動かすと、途中で止まる。
- ・運転中、異常に大きい音がしたり、
激しく振動する。
- ・本体が異常に熱かったり、こげくさい
ニオイがする。
- ・その他の異常や故障がある。

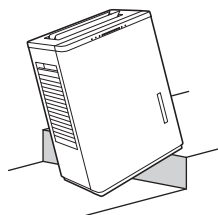
→すぐに販売店またはメンテナンス
契約会社にご依頼ください。



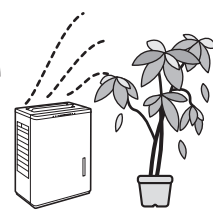
注意



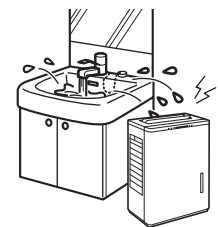
不安定な場所や
高い場所に置かない
(落下や転倒による、
けがや床などの水ぬれ、
漏電・感電・火災の原因)



動植物に、直接風が
当たる場所で使わない
(悪影響を及ぼす原因)

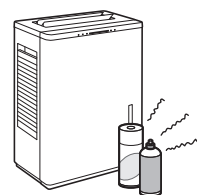


高温・多湿・水のかかる
場所で使わない
(ショートなどによる感電
や火災の原因)



油・可燃性ガスを
使用したり、漏れる
おそれのある場所で
使わない

(引火や本体への吸引に
よる、発火や発煙の原因)



油分が浮遊する場所に置かない
(ひび割れによるけがの原因)



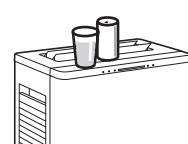
本体に座ったり、上に乗らない
(落下や転倒によるけがの原因)



換気が不十分な喫煙環境で使わない
(本体内に吸い込んだヤニが飛散し、
床などを汚す原因)



水や飲料の入った
容器を載せない
(こぼれた水が中に入ると、
感電や火災の原因)



安全上のご注意

必ずお守りください



本体を倒さない
(水がこぼれて感電や火災の原因)



**煙が出るタイプの殺虫剤を使うときは、
運転しない**
(薬剤成分がフィルターなどに付着し、吹出口から放出され、健康を害するおそれ)
・殺虫剤の使用後は、十分に換気してから運転してください。



可燃物や、火のついたタバコ・線香などを近づけない
(引火による火災の原因)



**ベンジンやシンナーでふいたり、
殺虫剤をかけたりしない**
(ひび割れによるけが、ショートなどによる感電や火災の原因)



給水タンク・除菌トレー・電解水タンクの水を飲まない、動植物などに与えない
(健康を害したり、悪影響を及ぼす原因)



**穴があいたり、破損した給水タンク・
除菌トレー・電解水タンクは使わない**
(水がこぼれて床などをぬらす原因
水がかかると変色や変質の原因)



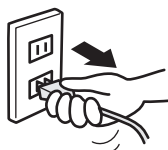
化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを給水タンクや除菌トレーに入れない
(タンク、トレーが破損して床などをぬらす原因
水がかかると変色や変質の原因)



壁や手すりなどの金属物に直接風を当てない
(シミやさびの原因)



**電源プラグは、
プラグ部を持って抜く**
(破損し、ショートなどによる感電や火災の原因)



長期間使わないときは電源プラグを抜く
(感電やけが原因)



**燃焼器具と一緒に
使うときは、換気する**
(一酸化炭素中毒の原因)

- ・燃焼器具などから発生する一酸化炭素を除去するものではありません。



**移動するときは運転を止め、給水タンク・
除菌トレー・電解水タンクの水を捨てる**
(水がこぼれて床などをぬらす原因
水がかかると変色や変質の原因)



移動するときは左右の取っ手を持つ
(ルーバー・フロントパネル・操作パネル
カバーを持つと、落下によるけがの原因)



滴水のおそれあり

- ・除菌トレーを取り外すときは接続部からの水滴が落ちるのを待つ
- ・電解水タンクを付け外しするときは、除菌トレーが本体に取り付いた状態で行う。
(接続部、またはタンク底の開口部や本体の電極ユニットから水が落ちる原因)



**除菌トレー・電解水タンクから
水がこぼれないように持ち運ぶ
水がこぼれた場合はふき取る**
(床などに水がかかると、次亜塩素酸の漂白作用による変色や変質の原因)



水を捨てるときは水道水を流しながら行う
(シンクや水道管などの酸化(さび)の原因)



**給水タンク・電解水タンクおよび
本体内部は常に清潔にする**

- ・給水タンクの水は、毎日新しい水道水に入れ替える。
- ・給水タンクは給水ごとにふり洗いを。
(汚れや水あか(スケール・結晶)でカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、および体質により、まれに健康を害する原因)
(お手入れせずに、水あか(スケール・結晶)や汚れ、白い塊が残ったまま使用すると、水漏れの原因)

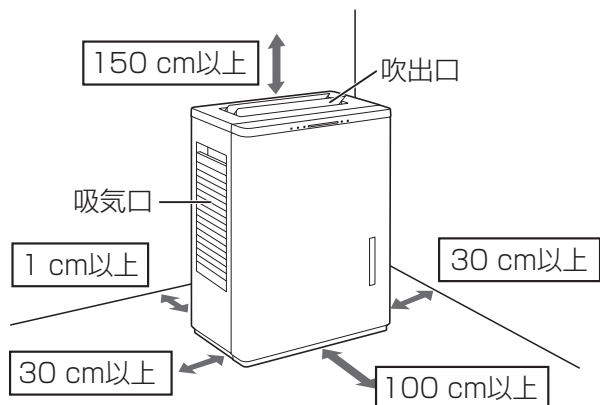


**使用中に身体に異常を感じたときは、
直ちに使用を中止し、医師に相談する**
(体調不良をおこす原因)

設置するときのお願い

■壁などのそばで使うとき

以下の距離を離してお使いください。
(風通しが悪くなると本体内部の温度が上がり、故障の原因)



■本機は室内に置き、5℃から35℃の環境で使用する

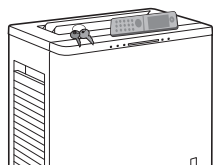
■こんな場所には、置かない

- 直射日光や暖房機の熱が当たる場所
(変形や変質、変色の原因)
- カーテンなどで、吸気口や吹出口がふさがれる場所
(誤動作や故障の原因)
- テレビやラジオの近く
(映像の乱れや雑音の原因)
→ 1 m以上離して置く。また、これらの機器と一緒にコンセントに電源プラグを差し込むと、映像の乱れや雑音が発生することがあります。その場合は別のコンセントに電源プラグを差し込んでください。

使用上のお願い

■本体の上に物を載せない

- とくに磁石や金属物は載せない。
(転倒を誤検知し、操作ができなくなる原因)
(エラーコード「U10」点灯)



■運転を停止する場合は、電源プラグを抜かない

(「クリーニング運転」(P.15)ができなくなるため、カビや雑菌が繁殖する原因)

■電源プラグを抜いたときは、給水タンク・除菌トレー・電解水タンクの水を捨てる

(カビや雑菌が繁殖する原因)

■壁などを清掃する

同じ場所で使い続けると、製品の吸い込み空気により、本体周辺の壁などが汚れることがあります。定期的に壁などを清掃することをおすすめします。

■凍結のおそれがあるときは、給水タンク・除菌トレー・電解水タンクの水を捨てる

(水が凍結した状態で運転すると、故障の原因)

■吹出口を布やタオルなどでふさがない

(誤動作や故障の原因)

■次亜塩素酸水溶液を本機以外の目的で使用しない

■喫煙環境で利用する場合は、タバコの煙を直接本体に吸い込ませない

(故障の原因)

■肌が敏感な方や気になる方は

付着した次亜塩素酸水溶液で手荒れの原因になることがあります。手袋を着用したり、付着したときは次亜塩素酸水溶液を洗い流してください。

塩タブレットについて

■塩タブレットを本機以外で使わない

■塩タブレットは必ず付属品、または別売品(P.31)を使う

■開封後はふたをしっかりと閉める

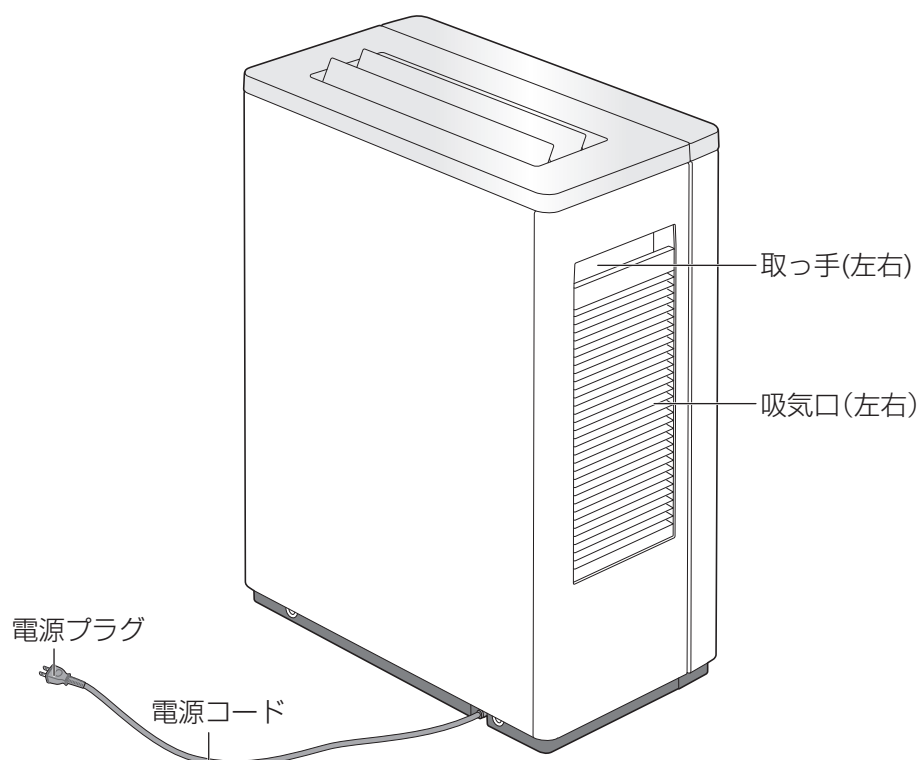
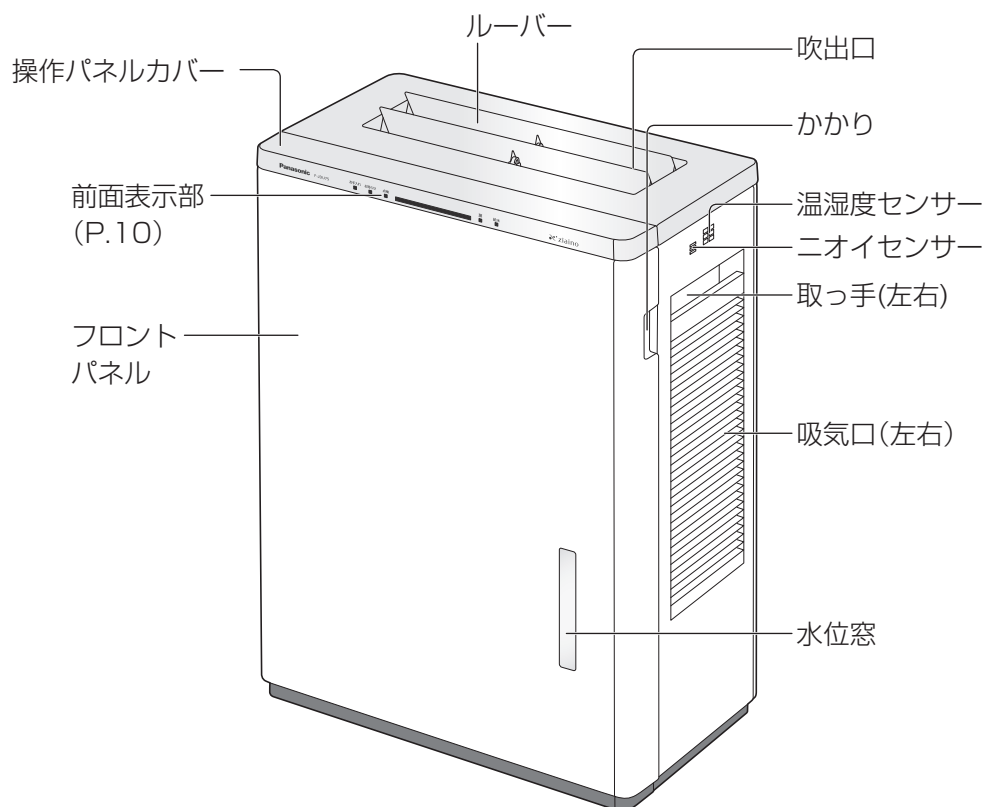
- 塩タブレットは吸湿性があるため、梅雨時など湿度の高いときは水分を吸って割れやすくなります。塩自動ユニットに入れるときは入れすぎないようにしてください。

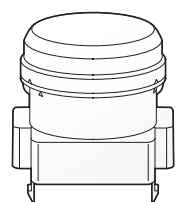
■塩タブレットを飲んだりしない

- 誤って塩タブレットを飲まれたときは、直ちに十分な水をお飲みください。(1粒あたり500 mL以上)
- 一度にたくさん飲まれたときや、高血圧症・心臓病等の方が飲まれたときは、医師にご相談ください。

各部の名前

本体

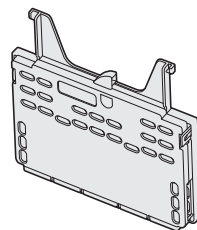




塩自動ユニット

塩自動ユニットは外せます。取り付けるときは、ツメ側を左右の溝を指で押さえながら、手前にして、本体の穴に合わせて、はめ込む。取り出す。

電極ユニット(内部)



付属品

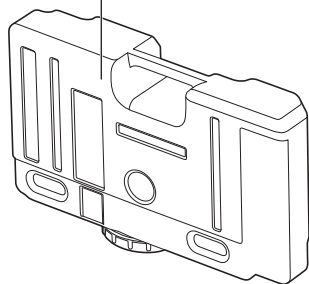
●塩タブレット
(約1,000粒入)



前面表示部(P.10)

操作パネル(P.11)

給水タンク



除菌フィルターセット

フロート(2個)
(内部)

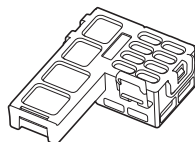
ポンプセット

除菌トレー

フロート(2個)
(内部)

仕切り板

防カビユニット



ポンプセット(内部)

電解水タンク

フロート(2個)
(内部)

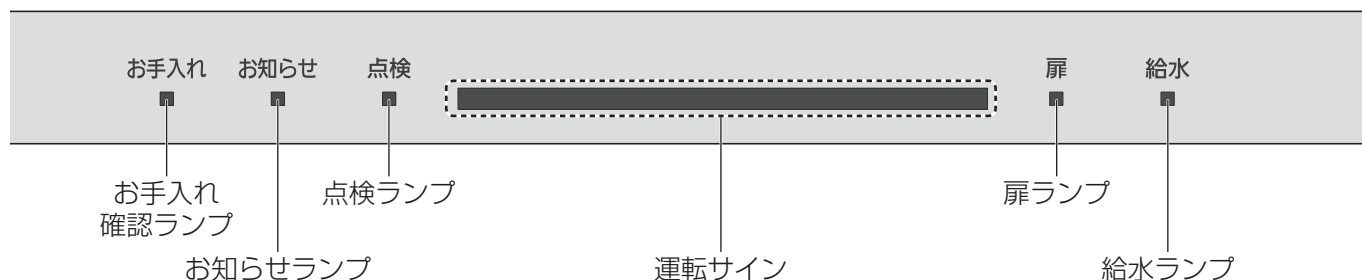
保護エレメント
(HEPAフィルター)
(左右)

保護エレメント
カバー(左右)

確認・準備

各部の名前 (つづき)

前面表示部



■お手入れ確認ランプ

点滅: お手入れ時期が近づいていることをお知らせしています。

点灯: お手入れ時期になりました。

→ 操作パネルの表示部を確認して、「**[E1]**」(約1か月に1回)または「**[E2]**」(約1年に1回)*のお手入れをしてください。(P.16 ~ 24)

お手入れ後、操作パネルのお手入れリセットランプが点灯しますので、**お手入れ** を約3秒押ししてリセットしてください。(P.11)

● お手入れ確認ランプの点灯時期より早くお手入れをされたときも **お手入れ** を約3秒押ししてリセットしてください。(P.11)

*メンテナンス契約をされているお客さまは、「**[E2]**」が表示された場合、メンテナンス契約会社へご連絡ください。

■お知らせランプ

本体に関する通知があることを点灯でお知らせしています。

→ 操作パネルの表示部、電極交換ランプ、お手入れリセットランプをご確認ください。

- 操作パネルの表示部にコードが表示していたら「表示部コード一覧」(P.29)に応じて対処してください。
- 電極交換ランプが点滅している場合は、電極交換の時期が近づいています。電極ユニットを交換してください。(P.25)
- お手入れリセットランプが点灯している場合は、**お手入れ** を押ししてリセットしてください。(P.11)

■点検ランプ

本体に異常があることを点灯でお知らせしています。

→ 操作パネルの表示部のエラーコードを確認してから、電源プラグを抜いて、対処してください。(P.30)

■扉ランプ

フロントパネルが開いていることを、点灯でお知らせしています。

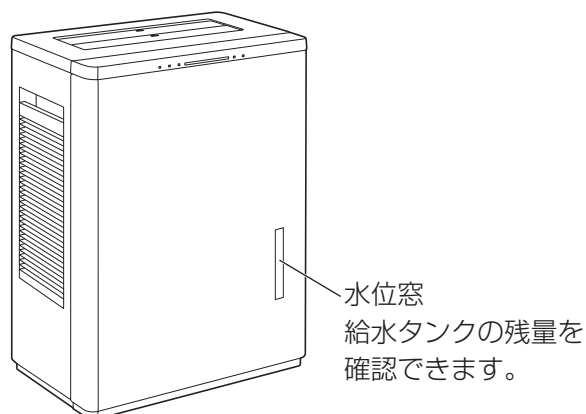
→ フロントパネル閉じてください。

■給水ランプ

給水タンクと除菌トレーの水がなくなると、「ピピッ」と給水お知らせ音が5回鳴って給水ランプが点灯し、運転を停止します。

→ フロントパネルを開いて給水タンクを取り出し、水を入れて本体に戻してください。

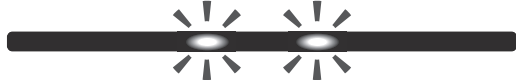
- 給水タンクは給水ごとに振り洗いしてください。
- 給水されるまで5分ごとにお知らせ音が鳴ります。
- 60分以上給水されないと、60分ごとにお知らせ音が鳴ります。
- お知らせ音は消すことができます。(P.27 Q1)



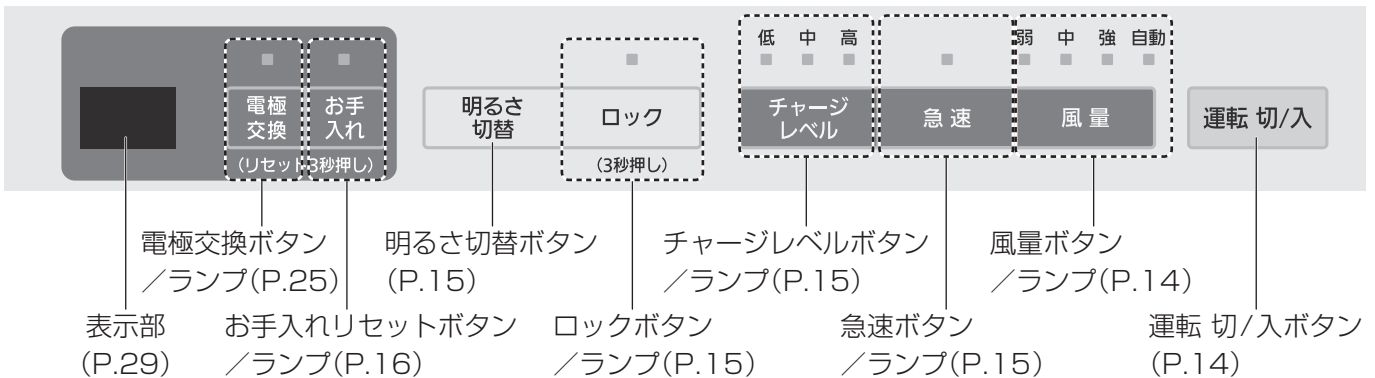
運転サイン

空気の汚れや運転状態をサインでお知らせします。

●「点灯」のときは空気の汚れを、「点滅」のときは運転状態や各種お知らせを表しています。

空気の汚れ	青点灯(キレイなとき) 青1～5:運転中  ●運転を継続して空気がキレイな状態が続くと、運転サインが点灯していきます。	赤点灯(汚れを検知したとき) 赤2:少し汚れているとき  赤4:汚れているとき 
運転状態・お知らせ	青点滅 青2:準備運転中  青1:「クリーニング運転」中  青3:「除菌フィルター乾燥運転」中 	赤点滅 赤2:給水ランプが点灯したとき  赤4:4時間以上給水ランプが点灯し続けたとき 

操作パネル



電極交換ボタン・お手入れリセットボタンについて

電極交換後(P.25)・お手入れ後(P.16～24)に、必ず押してリセットしてください。

- メンテナンス契約をされているお客さまは、メンテナンス契約会社の指示に従ってください。

電極交換ボタン

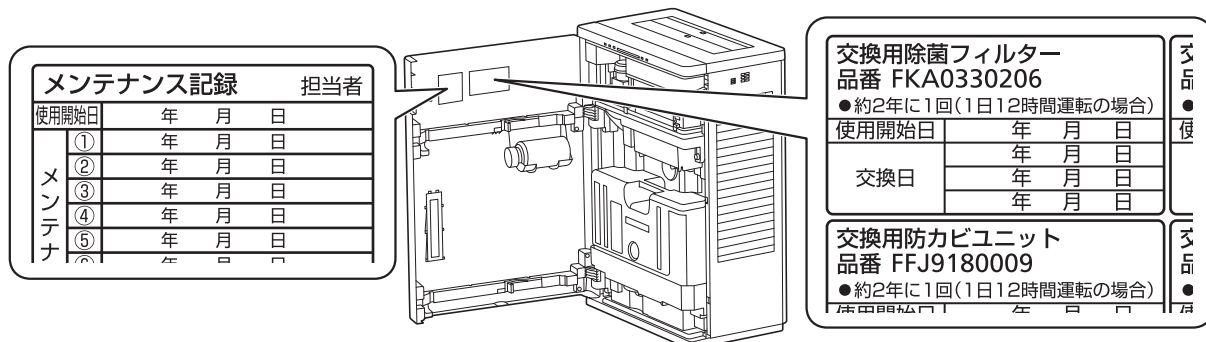


お手入れリセットボタン

- 電極交換ランプはご使用時間をカウントして点滅・点灯します。お手入れリセットランプはお手入れ後の部品を取り付けると点灯します。それぞれご対応後に、**電極交換** または **お手入れ** を約3秒押しいただくとランプが消灯します。
- 電極交換ランプの点滅・点灯前に電極交換を行った場合は、ご使用時間の正しいカウントのため同時に3秒押ししてリセットしてください。('ピッ'と音が鳴り、リセットされます)

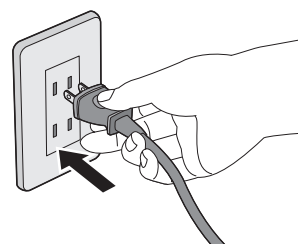
準備する

ご使用の前にフロントパネル内側の「ラベル」に使用開始日を記入する



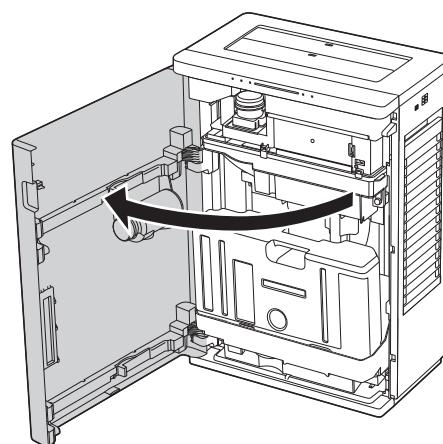
1 電源プラグを差し込む

- 電源プラグを差し込むと「ピピッ」とお知らせ音が5回鳴ります。
(給水ランプ点灯)

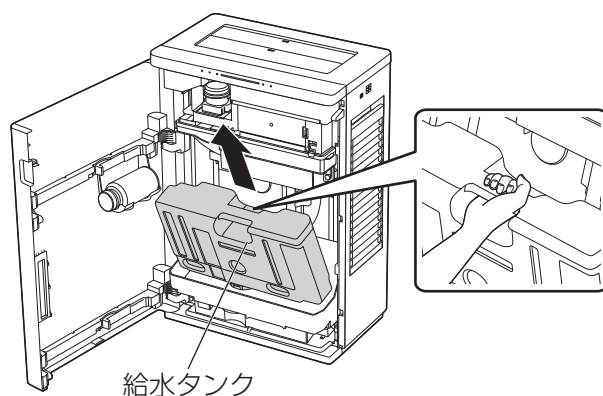


2 本体から給水タンクを取り出す

- ① フロントパネルを開く。
(扉ランプ点灯)

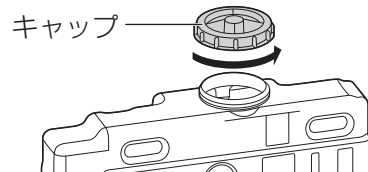


- ② 給水タンクを取り出す。



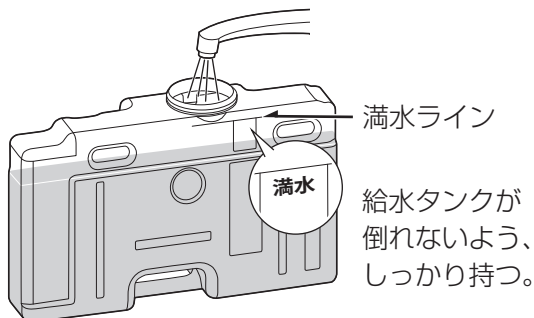
3 給水タンクに水を入れる

① 給水タンクのキャップを外す。



② 給水タンクに水を入れ、キャップを締める。

- 給水時にシンクに給水タンクが入らない場合は、やかんなどで水を入れる。



■ 給水タンク1杯分の連続運転可能時間は、
F-JDU75:約9.5時間
F-JDU55:約12時間

(「風量」設定を[強] / 室内の温度が20℃、湿度が30%の場合)

■ 必ず、水道水(飲用)を使う！

(一般に塩素処理されており、雑菌が繁殖しにくいため)

- 次のような水は、使わない。
 - 40℃以上の温水や洗剤を入れた水(変形や故障の原因)
 - 化学薬品、芳香剤、アロマオイルなどを入れた水(破損して床などをぬらす原因→P.6)
 - 浄水器の水やアルカリイオン水、ミネラルウォーター(カビや雑菌が、繁殖する原因)
 - 井戸水(カビ・雑菌が繁殖したり、変色や電極ユニットの交換時期が早くなる原因)

確認・準備

4 塩自動ユニットに塩タブレットを入れる

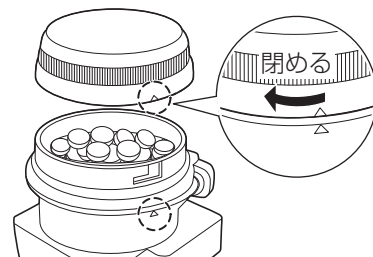
- 塩タブレットは必要なタイミングが来ると、自動で電解水タンクに投入されます。

① 塩自動ユニットを本体から取り出し、ふたを開けて、塩タブレット(60～70粒程度)を入れる。

- 塩自動ユニットの取り出し方はP.9を参照してください。
- 塩タブレットを入れ過ぎないようにしてください。

② 塩自動ユニットのふたを閉めて、塩自動ユニットを本体に取り付ける。

- 塩自動ユニットのふたを閉めるときは、△マークを合わせてふたをかぶせ、しっかりと閉めてください。

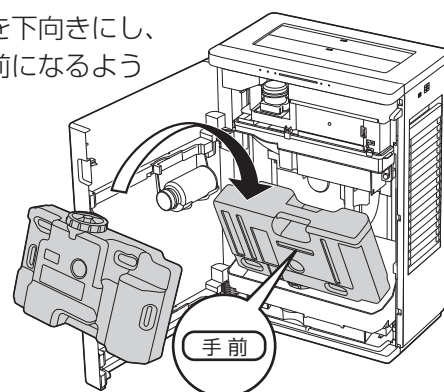


■ 塩タブレットは必ず付属品または別売品(P.31)をお使いください。

5 給水タンクを本体に戻して、フロントパネルを閉じる

① 給水タンクを本体に戻す。
(トレー内に十分給水されると、給水ランプ消灯)

キャップを下向きにし、刻印が手前になるように戻す。



② フロントパネルを閉じる。

(扉ランプ消灯)

ポンプ駆動(ポンプが水をくみ上げる音)が始まります。

お願い

- フロントパネルは確実に閉じてください。

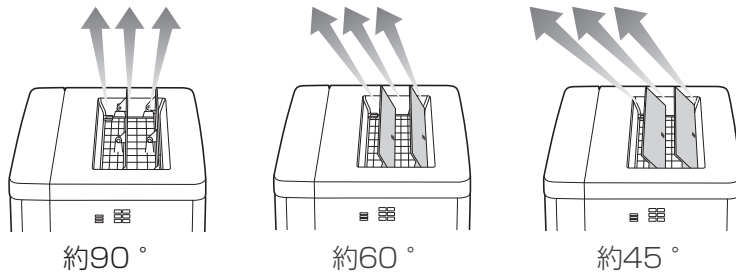
使い方



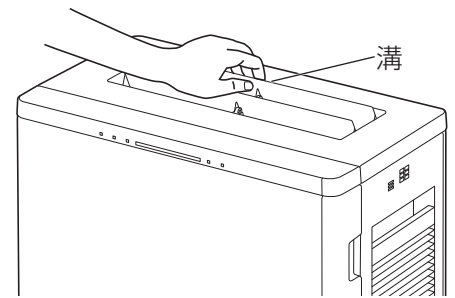
ルーバーを開ける

ルーバーを手で開けて、角度を選んでください。

- ルーバーは3段階の角度で保持することができます。



- ルーバーの溝を押して開ける



お願い

- 3段階の角度以外で使用しないでください。(カタカタ音の原因になります)
- ルーバーを閉めた状態で運転を行わないでください。(故障の原因)

1 運転を始める

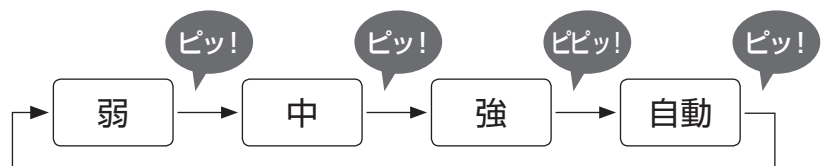
運転 切/入 を押す

- 押してから約20秒間、準備運転を行います。
(運転サインの両端が同時に青点滅)
 - ・準備運転中に風は出ません。
- 準備運転終了後、運転を開始します。
(運転サインが点灯)

2 風量を選ぶ

風量 を押して選ぶ

押すたびに
切り換わります。



- お買い上げ時は、[自動]運転に設定されています。
- [自動]運転の場合は、お部屋の二オイ・温度・湿度に応じて、風量を切り換えます。
- 準備運転中も設定できます。

3 運転を止めるときは

運転 切/入 を押す

(ランプ消灯)

- 押してから約10秒間は、送風が続きます。
(本体内にたまった次亜塩素酸を排出するため)

お知らせ

- 運転中にフロントパネルを開くと、「ピピピピ」音が鳴り、運転が一時停止します。
フロントパネルが開いている間、扉ランプが点灯します。
フロントパネルを閉じると、約20秒間、準備運転を行います。
準備運転終了後、フロントパネルを開く前の風量で運転を再開します。
- 長時間使用しないときなどはルーバーを閉じておくとホコリなどが入りにくくなります。

急速運転をする

急速

すばやく除菌・脱臭したいときに設定します。

運転中に押す 1時間後、設定する前の風量に戻ります。
(ランプ点灯)

■解除したいとき

再度、押す(ランプ消灯)

●設定する前の風量に戻ります。

チャージレベルを選ぶ

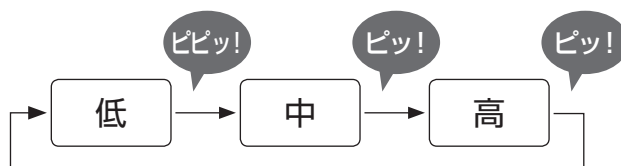
チャージ
レベル

次亜塩素酸水溶液の除菌トレーへの投入量(除菌トレー内の濃度)を選ぶ

押すたびに切り換わります

低 中 高

(ランプ点灯)



●お部屋のニオイが気になるときや、除菌効果を上げたいときは[高]に、塩素系(消毒)のニオイが気になるときは[低]にしてください。

操作をロックする

ロック

いたずら操作を防止します。

設定後に **ロック** 以外のボタン
約3秒押す を押すと、「ピーピー」と警告音
(ランプ点灯) が鳴り、操作はできません。

■解除したいとき

再度、約3秒押す(ランプ消灯)

明るさを替える

明るさ
切替

明るさが気になるときに、
ランプの明るさを暗くできます。

押すたびに切り換わります

クリーニング運転(自動)

- 本製品は装置内部を清潔に保つため、運転停止中に定期的に「クリーニング運転」を行います。
(「クリーニング運転」中は微風が出ます)



(運転サインの中央が青点滅)

お願い

- 給水タンクに水がないと、「クリーニング運転」は行われません。運転を停止するときは、給水タンクに十分水があることを確認してください。
- 運転停止中に自動で行いますので、電源プラグを抜かないでください。

お手入れする

■お手入れ確認ランプが点滅・点灯したときに、表示部の表記(**[1]**、**[2]**)に応じた部品のお手入れを行ってください。お手入れ後は **お手入れ** を約3秒押してお手入れリセットをしてください。(P.11)

- 水質や使用環境により汚れ具合が変わるため、お手入れ確認ランプが点灯する前、または所定の期間前でも、ニオイがしたり給水タンクの水が減りにくい場合は、お手入れしてください。

お手入れの前に

警告



■お手入れ時は、電源プラグを抜く
(不意に作動して、感電やけがの原因)



■酸性の洗剤やクエン酸は使わない
(有害な塩素ガスが発生し、健康を害する原因)
・お手入れ時は換気してください。

- 右の洗剤は使わない。
(樹脂部品の変質・変色・破損の原因)
- 化学ぞうきんは、その注意書きに従って使う。



注意



■除菌トレイ・電解水タンクから水がこぼれないように持ち運ぶ
水がこぼれた場合はふき取る
(床などに水がかかると、次亜塩素酸の漂白作用による変色の原因)

■水を捨てるときは水道水を流しながら行う
(シンクや水道管などの酸化(さび)の原因)



■ベンジンやシンナーでふいたり、殺虫剤をかけたりしない
(ひび割れによるけが、ショートなどによる感電や火災の原因)

お知らせ

- 床に滴下したときのためにふき取り用の布などをご準備ください。

■以下の部品はお手入れ確認ランプの点滅・点灯にかかわらず、都度行ってください。

本体・フロントパネル

汚れが気になるときは

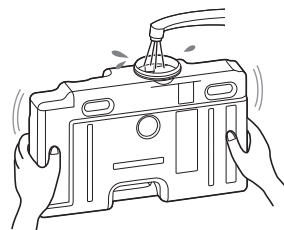
よく絞った柔らかい布でふく

かたい布でふいたり強くこすったりすると、表面が傷つく原因になります。

- 汚れが気になるときは水で薄めた中性洗剤をご使用ください。
- 電源プラグは乾いた布でふいてください。

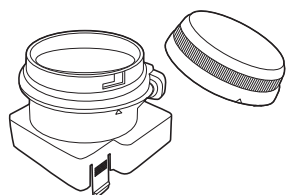
給水タンク <毎日>

給水ごとに振り洗いする

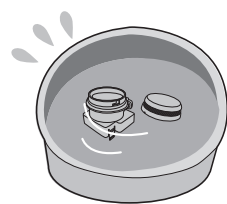


塩自動ユニット

お手入れは不要



塩が固まってとれないときは
水でつけ置き洗いする



お願い

- 塩自動ユニットの取り出し方はP.9を参照してください。
- つけ置き洗い後は十分に乾かしてから使用してください。(水分が残っていると、塩が溶けて固まってしまう原因)
- 長期間使用しないときは、塩自動ユニットに塩タブレットを入れたままにしないでください。
- 塩自動ユニットは分解しないでください。

表示部の表記について

お手入れ確認ランプが点滅・点灯すると表示部に「**[1]**」または「**[2]**」が表示されます。表記にしたがって、各部品をお手入れしてください。

「**[1]**」が表示されたとき

約1か月に1回*のお手入れです。

下記の部品をお手入れしてください。

- 保護エレメント(HEPAフィルター)(下記)
- 除菌トレー(P.18)
- 除菌フィルターセット(P.19)

※使用環境や使用時間によっては、早く表示することがあります。

「**[2]**」が表示されたとき

約1年に1回*のお手入れです。

下記の部品をお手入れしてください。

- 保護エレメント(HEPAフィルター)(下記)
- 除菌トレー(P.18)
- 除菌フィルターセット(P.19)
- + • 電解水タンク(P.20)
- ポンプ(3つ)(P.22)

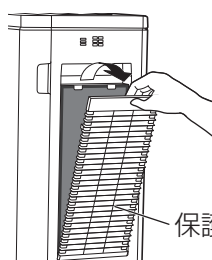
●メンテナンス契約をされているお客さまへ
メンテナンス時期より先に「**[2]**」が点滅・点灯した場合はメンテナンス契約会社にご連絡ください。

保護エレメント(HEPAフィルター) **[1]** **[2]**

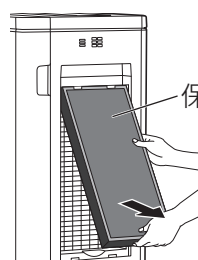
1 保護エレメントカバーと保護エレメント(HEPAフィルター)を外す

保護エレメントカバー、保護エレメント(HEPAフィルター)の順に取り外す。

①手前に引いて、保護エレメントカバーを外す。②保護エレメント(HEPAフィルター)下側を持ち上げ、手前に引く。



保護エレメントカバー



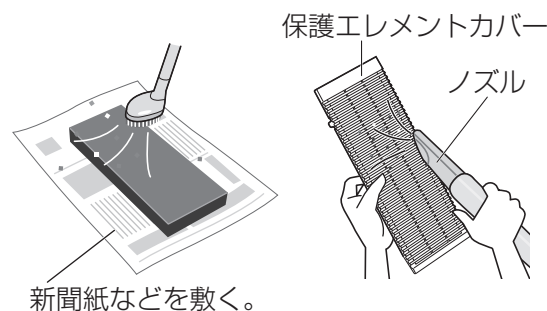
保護エレメント(HEPAフィルター)

2 「↓おもて」面のホコリを掃除機などで取る

- 傷がつきやすいため、強く押さない。
- 白い面(裏面)は、お手入れしない。
- 水洗いはしない。
- 保護エレメントカバーの汚れが気になるときも、掃除機などで取る。

お願い

- 保護エレメント(HEPAフィルター)を外したまま運転しないでください。
(効果が得られなかったり、吸ったホコリで故障する原因)



新聞紙などを敷く。

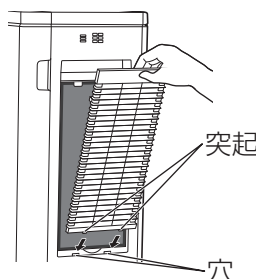
3 保護エレメントカバーと保護エレメント(HEPAフィルター)を戻す

保護エレメント(HEPAフィルター)、保護エレメントカバーの順に取り付ける。

- ①本体の凹部に保護エレメント(HEPAフィルター)を入れる。
- ②保護エレメント(HEPAフィルター)を上を押し上げながら、下側を本体に押し込む。
- ③保護エレメントカバーの突起(2か所)を本体の穴(2か所)に差し込む。
- ④「カチッ」と音がするまで押し込む。

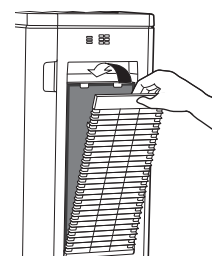


本体の凹部



突起

穴



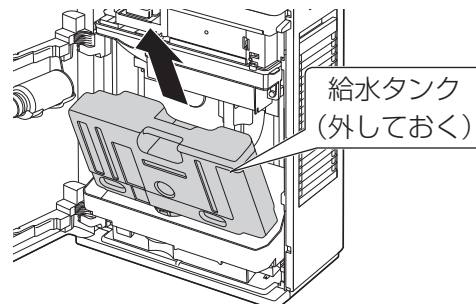
お手入れする (つづき)

除菌トレー

[1] [2]

1 本体から除菌トレーを取り出す

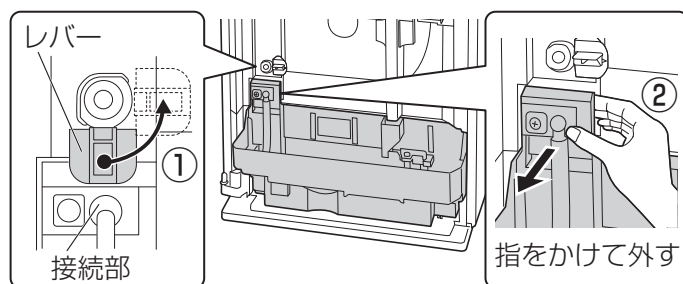
■必ず、給水タンクを取り出してから作業してください。



① 本体のレバー(トレー左上)を右に回して上げ、接続部を押さえている部分を外す。

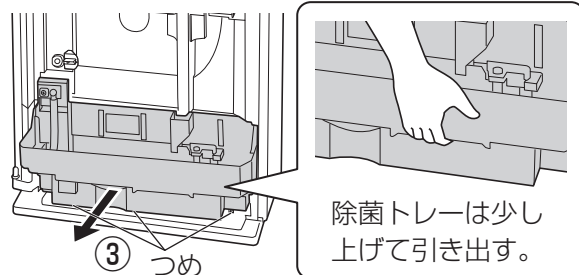
② 本体から接続部を外す。

●接続部から水がこぼれる恐れがあります。水滴が落ちきるのを待ってください。



③ 本体のつめに注意しながら、除菌トレーを少し持ち上げてゆっくりと引き出す。

●本体の内側のパネルに水滴がついていたらふき取る。(水滴が乾いて汚れることがあります)



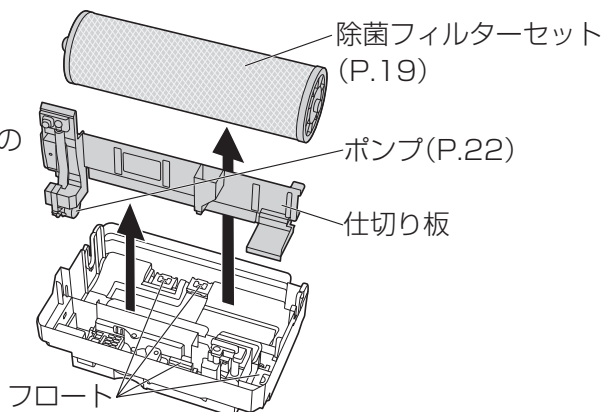
2 除菌トレーから仕切り板と除菌フィルターセットを外す

●「[2]」が表示されたときは、除菌トレーと仕切り板のポンプもお手入れしてください。

●ポンプのお手入れについてはP.22参照。

お願い

●フロート(発泡スチロール)は外さないでください。(正しくついていないと運転しない原因)



3 除菌トレーの水を捨てて、除菌トレーと仕切り板を水洗いする

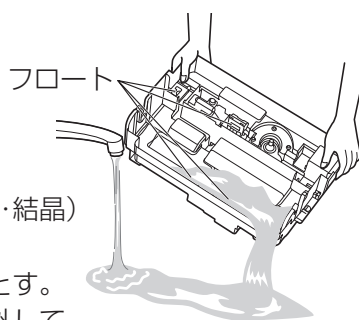
●排水は水道水を流しながら行う。

●水に浸した柔らかい布で水あか(スケール・結晶)の汚れを取り除く。

●細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。

●防カビユニットの汚れが気になるときは外して水洗いする。(P.20)

●しつこい汚れは→「ジアイーノ用洗剤(別売品)の使い方」(P.23)参照。



お願い

特に水あかがたまりやすいフロート

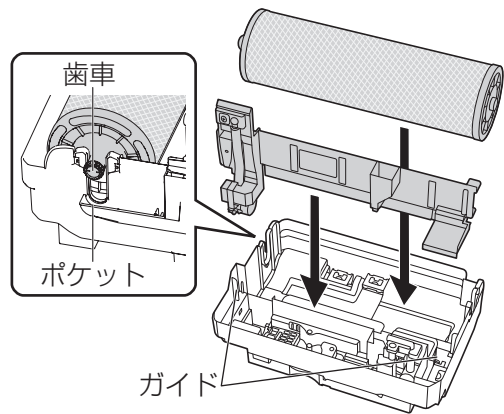
●トレーの底や、フロートの周りは水あか(スケール・結晶)がたまりやすいので、しっかり洗い流してください。

4 除菌トレーに仕切り板と除菌フィルターセットを取り付ける

- ① 仕切り板
ガイドにそわせて差し込む。
- ② 除菌フィルターセット
よく水をきって、歯車を除菌トレーのポケットへ収める。

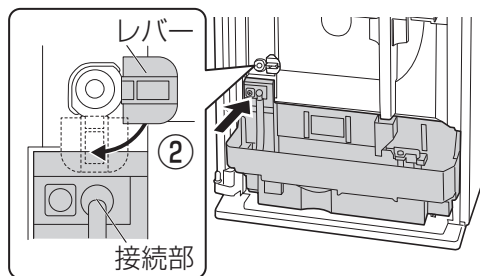
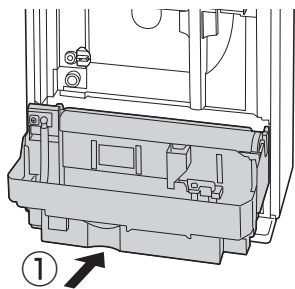
お願い

- 除菌フィルターセットを外したまま運転しないでください。
(除菌ができない原因)



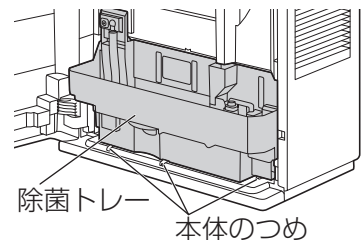
5 本体に除菌トレーを戻す

- ① 除菌トレーの外側を
ふき取り、奥まで入れる。
- ② 左上の接続部を押し込み、本体のレバー
を下に回して下げ、接続部を押さえる。



お願い

- 除菌トレーが本体のつめの奥までしっかりと入っていることを確認してください。



除菌フィルターセット



水洗いして水あか(スケール・結晶)を落とす

- 除菌フィルター はもみ洗いする。

お願い

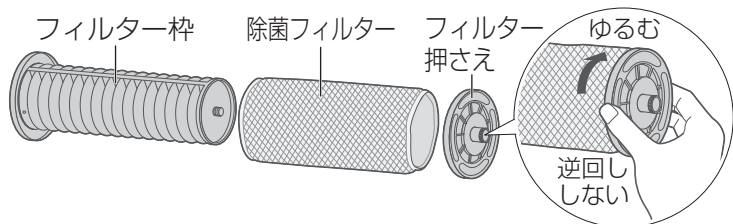
- 除菌フィルターセットに付着した水あか(スケール・結晶)を取り除いてください。
(水あか(スケール・結晶)が付着したまま運転すると故障の原因)



■汚れが気になるときは、除菌フィルターセットを分解して洗う

1 外す

フィルター枠から、フィルター押さえ、除菌フィルターの順に取り外す。



2 洗う

- 除菌フィルターは
水か、ぬるま湯で押し洗いする
 - ・ ブラシなどでこすったり洗濯機で洗ったりしない。
 - ・ 乾燥機で乾かさない。(縮みの原因)

- フィルター枠とフィルター押さえは
水洗いする

- ・ 細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。
- ・ 汚れが落ちにくい場合は、40℃以下のぬるま湯につけ置きする。

3 戻す

- ① 除菌フィルターとフィルター枠の水をきって、除菌フィルターをフィルター枠に差し込む。
 - ② フィルター押さえを、フィルター枠に取り付ける。
- 除菌フィルターは、フィルター押さえやフィルター枠との間にすき間ができたり、両端の円部分にかぶさったりしないようにする。(性能が低下する原因)

- しつこい汚れやニオイが気になるときは→「ジアイーノ用洗剤(別売品)の使い方」(P.23)参照。

お手入れする (つづき)

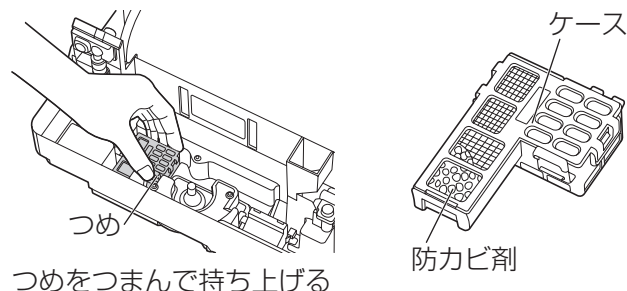
防カビユニット

汚れが気になるときは 除菌トレーから外して水洗いする

- ブラシでこすったり、分解したりしない。
- 防カビユニットのネットが破れていないか確認する。
→ 破れていたら交換する。
- 防カビユニットのケースが汚れていないか確認する。
→ 汚れていたら柔らかい布でふき取る。
- しつこい汚れは→「ジアイーノ用洗剤(別売品)の使い方」(P.23)参照。

お知らせ

- 防カビユニットから、粉末が出ていることがありますが、ご使用上の問題はありません。
- 防カビ剤は、使用とともに小さくなりますが、防カビ性能は問題ありません。
- 防カビ剤特有のニオイがすることがありますが無害です。

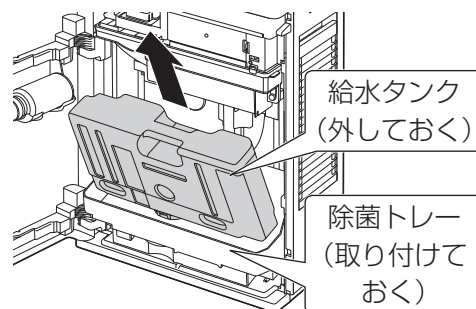


電解水タンク

2

1 本体から電解水タンクを取り出す

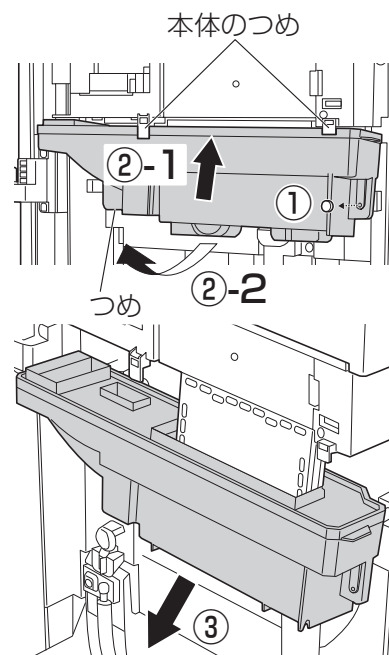
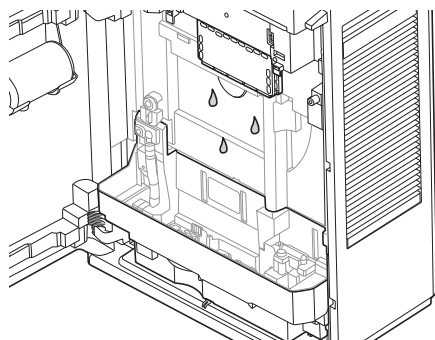
■ 必ず、給水タンクを取り出してから作業してください。



- ① 電解水タンク右側の固定ねじ(1か所)を外す。
- ② 電解水タンクを両手で少し持ち上げ、本体のつめに押しあてたまま(②-1)、電解水タンクの下側を手前に引く(②-2)。
(電解水タンク左底面のつめを本体から外す)
- ③ そのまま、電解水タンクから本体の電極ユニットが外れるように、電解水タンクを斜め下にゆっくりと引き抜く。

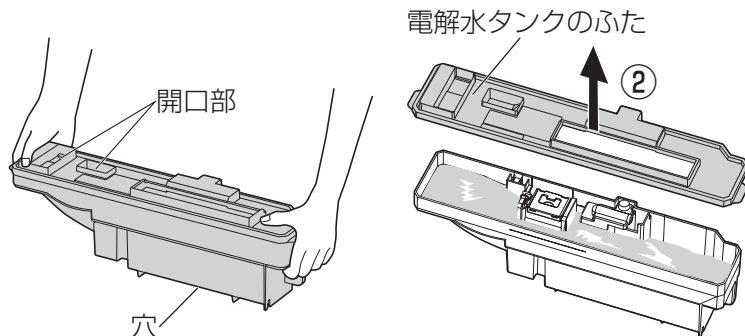
お願い

- 本体の電極ユニットから水が落ちるため、除菌トレーが取り付けられている状態で作業してください。

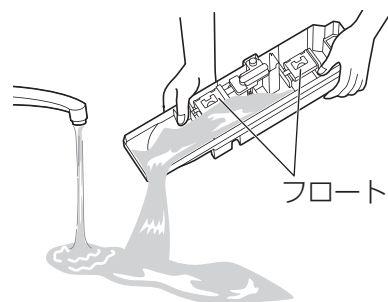


2 電解水タンクの水を捨てて、水洗いする

- ① 電解水タンクの両側を持ち、傾けないように移動する。
(開口部や穴から水がこぼれるおそれがあります)
- ② 電解水タンクのふたを外す。



- ③ 電解水タンクの水を静かに捨てる。
- ④ ふた、電解水タンクを水洗いする。
 - 水を捨てる時は水道水を流しながら行う。(さびの原因)
 - 水に浸した柔らかい布で水あか(スケール・結晶)の汚れを取り除く。
 - 細部の汚れは、綿棒や歯ブラシなどで落とす。
 - ポンプのお手入れについてはP.22参照。
 - しつこい汚れは→「ジアイーノ用洗剤(別売品)の使い方」(P.23)参照。

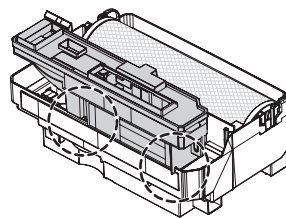


お願い

- フロート(発泡スチロール)は外さないでください。(正しくついていないと運転しない原因)

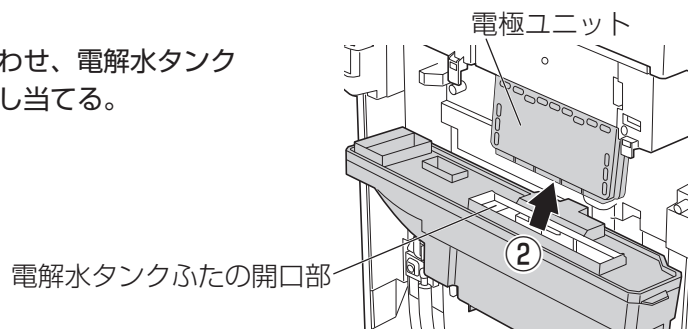
お知らせ

- 電解水タンクと除菌トレーを重ねて持つことができます。

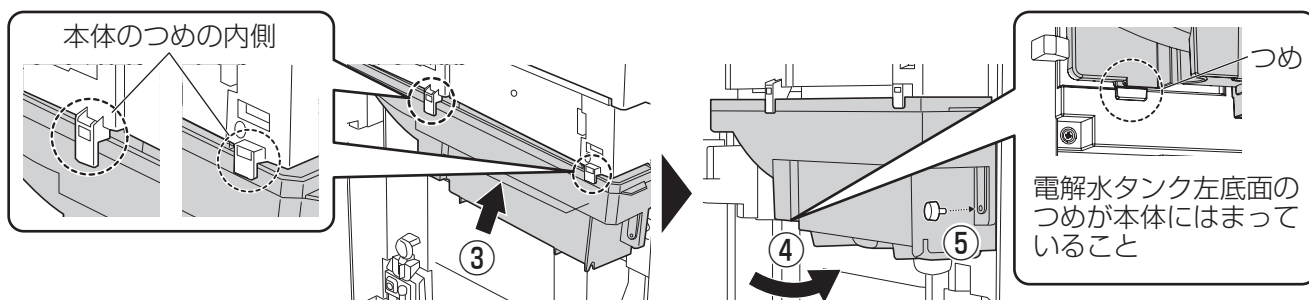


3 本体に電解水タンクを戻す

- ① 電解水タンクにふたを取り付ける。
- ② 電極ユニットを電解水タンクふたの開口部に合わせ、電解水タンクの中に格納しながら、電解水タンクを本体に押し当てる。



- ③ 電解水タンクを本体のつめの内側に入れて、上に押し当てたまま、
- ④ 垂直になるように電解水タンクの下側を奥に押し込み、本体に取り付ける。
(電解水タンク左底面のつめを本体にはめる)
- ⑤ 穴位置を合わせて、電解水タンクを固定ねじで取り付ける。



お手入れする (つづき)

ポンプ

12

仕切り板、除菌トレー、電解水タンクのポンプセットのポンプ(3か所)を洗います。

1 仕切り板、除菌トレー、電解水タンクそれぞれのポンプセットを取り外す(3か所)

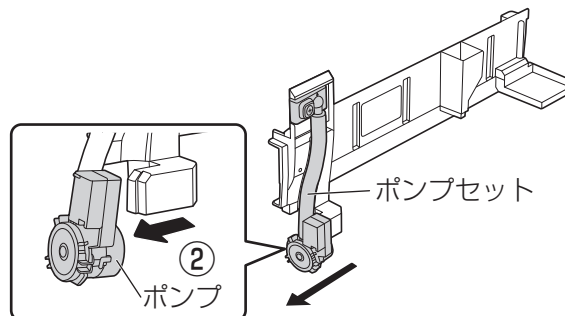
■仕切り板のポンプセットの場合

仕切り板のポンプセットは仕切り板から外れないため、ポンプ部分のみを外してください。

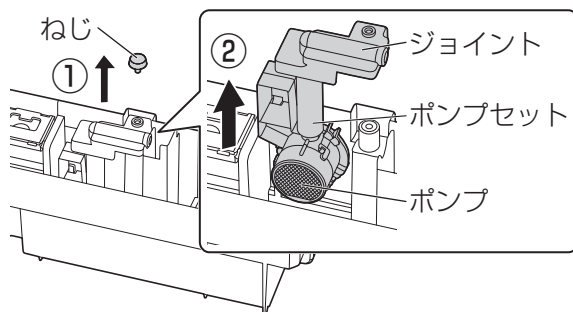
- ① 仕切り板を持ち上げ、除菌トレーから外す。
- ② ホースを軽く曲げながら、ポンプ部分のみを横方向に引き抜く。

■除菌トレー・電解水タンクのポンプセットの場合

- ① ねじを外す。
- ② ジョイントを持って、ポンプセット全体を引き上げて抜く。

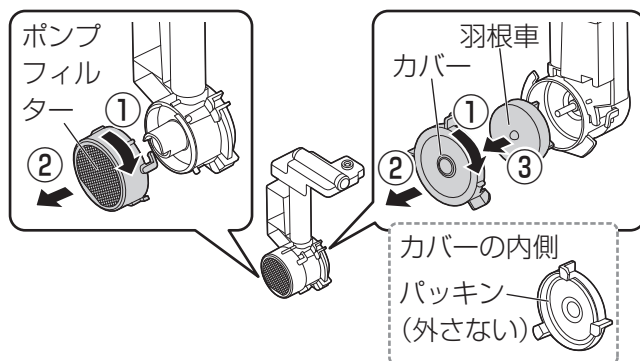


<電解水タンクの例>



2 ポンプセットからポンプフィルターとカバー、羽根車を外す

ポンプフィルターと反対側のカバーを矢印方向(①)にまわし、羽根車を取り外す。



3 水洗いする

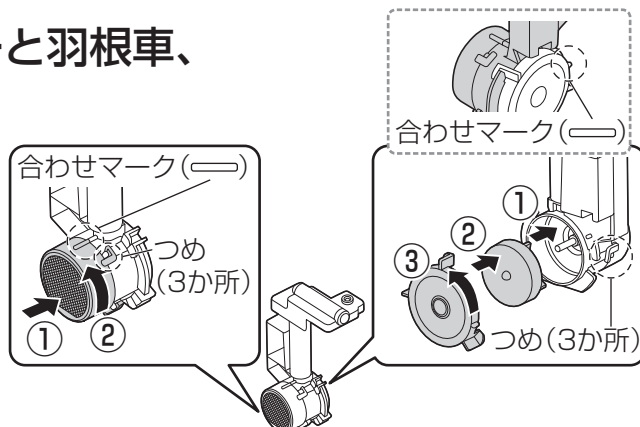
- ホース、パッキンは外さない。
- ポンプフィルターなどの細部は、綿棒や歯ブラシなどで汚れを落とす。
- しつこい汚れは→「ジアイーノ用洗浄剤(別売品)の使い方」(P.23)参照。

外した部品は確実に取り付けてください。

- タンクの水を本体へ供給できなくなります。
 - 水漏れや故障の原因になります。
- パッキンが外れていないか確認してください。

4 ポンプセットにポンプフィルターと羽根車、カバーを取り付ける

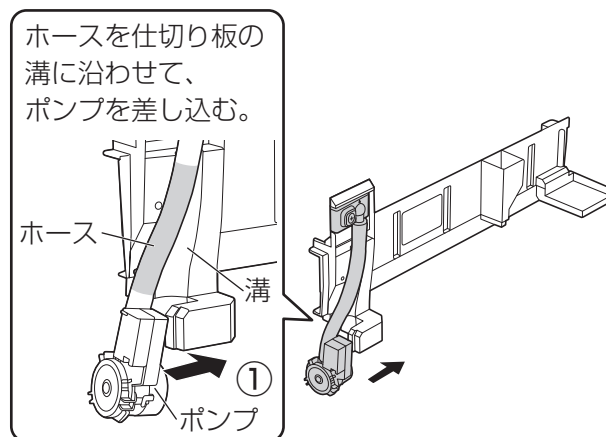
ポンプフィルターとカバーを合わせマークがそれぞれ合うように、つめ(3か所)をはめる。



5 仕切り板、除菌トレー、 電解水タンクそれぞれに ポンプセットを取り付ける (3か所)

■仕切り板のポンプセットの場合

- ① ホースを仕切り板の溝に沿わせて、
ポンプを横方向に差し込む。
- ② 仕切り板を、除菌トレーに戻す。



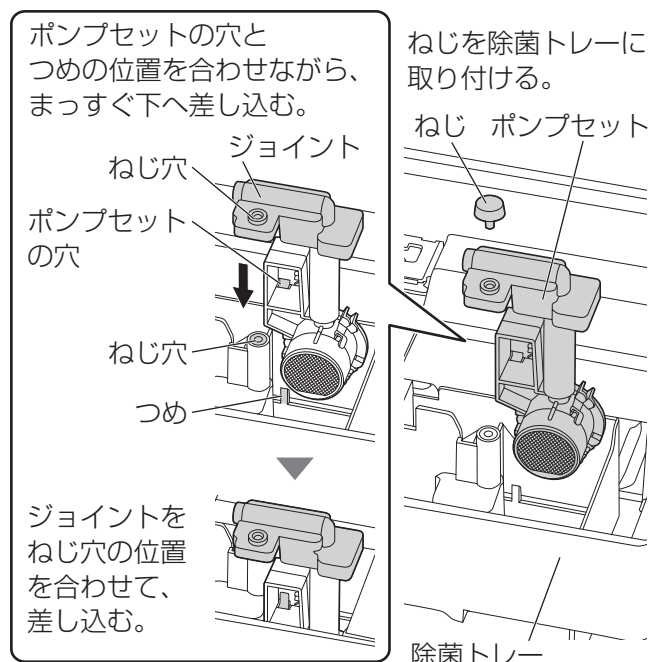
■除菌トレー・電解水タンクのポンプセット の場合

- ① ポンプセットの穴とつめの位置を合わせて、
まっすぐ下へ差し込む。
- ② ねじ穴の位置を合わせて、ジョイントを差し込む。
- ③ ねじを取り付ける。

お願い

- ねじはしっかり取り付けてください。
(正しく取り付いていないとポンプが水を吸わない
原因)

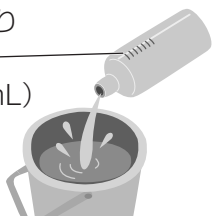
<除菌トレーの例>



ジアイーノ用洗剤(別売品)の使い方

水か、ぬるま湯(約40℃以下)で、よく溶かす

2 L 当たり
1 目盛り
(約40 mL)



<つけ置き洗いのしかた>

- 除菌トレー、電解水タンク、フィルター枠、フィルター押さえ、
仕切り板、ポンプセット、防カビユニット

- ① ジアイーノ用洗剤を水かぬるま湯でよく溶かす
- ② 部品を約30分つけ置きする
- ③ 柔らかいブラシ、スポンジ、布などでこすり洗いする
(防カビユニットはこすり洗いはしない)
- ④ きれいな水でよくすすぎ洗いをする

● 除菌フィルター

- ① ジアイーノ用洗剤を水かぬるま湯でよく溶かす
- ② 除菌フィルターを約30分つけ置きする
- ③ 押し洗いする。
- ④ きれいな水でよくすすぎ洗いをする。

● ジアイーノ用洗剤の表示もご確認ください。

・ 除菌トレー ・ 電解水タンク ・ フィルター枠 ・ フィルター押さえ ・ 仕切り板 ・ ポンプセット	つけ置き後、こすり洗い
・ 防カビユニット	つけ置き後、すすぎ洗い
・ 除菌フィルター	つけ置き後、押し洗い

お手入れする (つづき)

長期間使わないときは

- ① 電源プラグを抜く。
- ② 塩自動ユニット内の塩タブレットを取り出す。
- ③ 給水タンク・除菌トレイ・電解水タンクの水を捨て、すべてのお手入れをする。
- ④ 各部の水けをよくふき取ってから本体に戻す。
- ⑤ 電源プラグをコンセントに差し込み、「除菌フィルター乾燥運転」を行う。(カビや雑菌の発生を防ぐため)

除菌フィルター乾燥運転

- ルーバーは開けておいてください。(90°推奨)

明るさ切替 と チャージレベル を同時に約3秒押す。



(運転サインの3か所が青点滅)

[強]運転で「除菌フィルター乾燥運転」を開始します。
約2時間後に自動で停止します。
途中で解除するときは、再度約3秒押す。

お知らせ

- お手入れ時に、除菌フィルター、トレイなどの水あか(スケール・結晶)が取り切れていないと、白い粉が飛ぶことがあります。
- トレイに水が残っていたり、「除菌フィルター乾燥運転」を途中で解除すると、十分乾燥できていない場合があります。

- ⑥ 運転停止後、電源プラグを抜く。
- ⑦ 除菌トレイを取り出し、水けをふき取る。
- ⑧ 本体にポリ袋などをかぶせ、湿気が少なく、水平で安定した場所に立てて保管する。

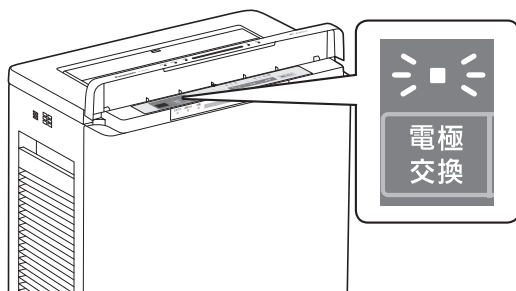
各部品の交換の目安

部品	交換時期	条 件
保護エレメント (HEPAフィルター)	約3年に1回	1日にタバコ5本相当の汚れを吸ったとき(日本電機工業会規格JEM 1467)
	約1年に1回	喫煙環境*で1日に12時間運転の場合
除菌フィルター	約2年に1回	1日に12時間運転の場合
防カビユニット		
電極ユニット	約5年に1回	

※ 排気風量が十分に確保された喫煙専用室(目安: 1日200本喫煙に対し、換気回数 約30回/h)
(別売品:P.31)

- 交換時期を過ぎた保護エレメント(HEPAフィルター)を使用し続けると吸い込んだ汚れが本体内部に付着し、本体から飛散して床などの汚れの原因になります。
保護エレメント(HEPAフィルター)は、使用環境により汚れ具合が変わるため、お手入れをしてもニオイがしたりタンクの水が減りにくい場合は、3年または1年以内でも交換してください。
- 除菌フィルターは、水質やご使用状況によっても寿命が変わるため、次の場合は2年以内でも交換してください。
 - ・お手入れしても、ニオイが取れない
 - ・縮みがひどい
 - ・給水タンクの水が減らない
 - ・傷みがひどい
- 保護エレメント(HEPAフィルター)、除菌フィルターは不燃物として捨ててください。
ただし、除菌フィルターのフィルター枠とフィルター押さえは、捨てないでください。
- 交換後、交換日をフロントパネル内側のラベルに記入してください。
- 電極ユニットはプラスチックと金属の混合物です。お住まいの地域のゴミ分別方法に従い廃棄してください。

電極ユニットを交換するときは



電極交換ランプが点滅したら…

- 電極交換ランプが点滅したら、電極ユニットの交換時期です。
- 点滅してから、約1か月後に電極交換ランプが点灯して運転ができなくなります。
- 約5年に1回が目安です。(1日12時間運転の場合)
- 水質や使用環境によって交換時期は異なります。5年以内でも効果を感じられなくなったり、点検ランプが点灯し、表示部に「U12」が何度も表示されるときは交換して下さい。
- 交換後、交換日をフロントパネル内側のラベルに記入してください。

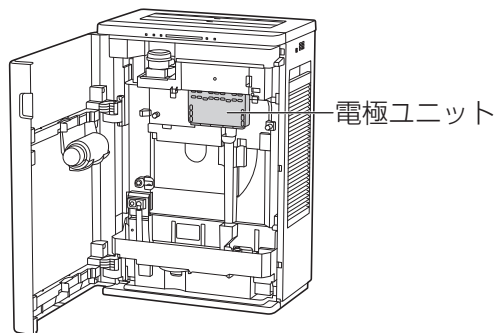
お願い

- 必ず本機専用の電極ユニット(「別売品」P.31)をご使用ください。
- 電極交換ランプの点滅・点灯前に、電極ユニットを交換された場合は **電極交換** と **運転切/入** を同時に約3秒押してリセットしてください。(「ピッ」と音が鳴り、リセットされます)

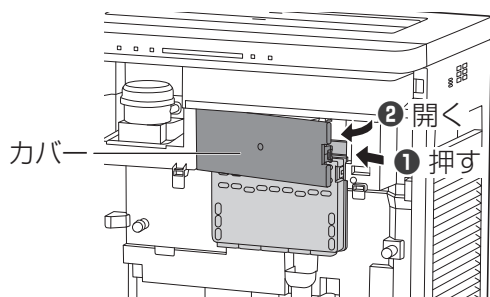
電極ユニットの取り外し方／取り付け方

■取り外し方

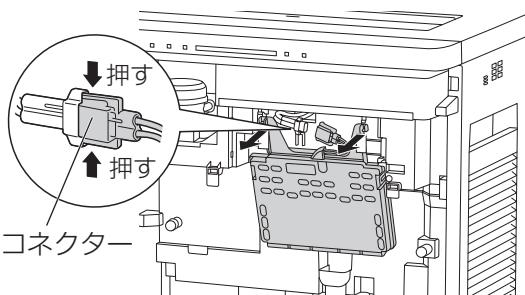
- ① 電源プラグを抜く。
- ② フロントパネルを開く。
- ③ 給水タンクを取り出す。
- ④ 電解水タンクを取り外す。(P.20)



- ⑤ 電極ユニットのカバーを外す。



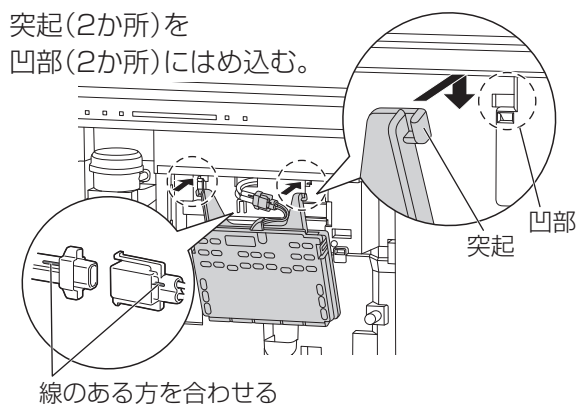
- ⑥ コネクターを外す。



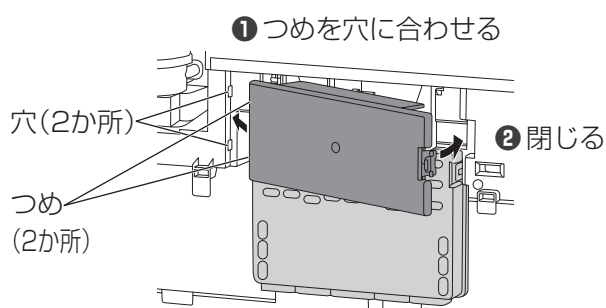
- ⑦ 電極ユニットを少し上に上げて手前に取り外す。

■取り付け方

- ① 新しい電極ユニットのコネクターを取り付け、本体に取り付ける。



- ② 電極ユニットにカバーを取り付ける。



- ③ 電解水タンクを取り付ける。(P.21)
- ④ 給水タンクを本体に戻す。
- ⑤ フロントパネルを閉じる。
- ⑥ 電源プラグをコンセントに差し込み、**電極交換** を約3秒押してリセットしてください。(P.11)

もっと知りたいとき

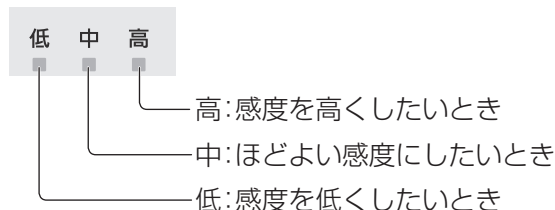
ニオイセンサーの働き

空気の汚れをセンサーで検知し、運転サインで空気の汚れ具合をお知らせします。[自動]運転のときは、汚れの種類に応じて最適な風量にします。

- 暖房機が近くにある場合など室内の気流によって、センサーの働きが変化することがあります。
- お好みのセンサー感度に変えられます。
(初めて使うときは[中]に設定されています)

- ① 運転を止め、**ロック** と **チャージレベル** を同時に押し続ける。
(ロックランプが点灯し、チャージレベルランプが順次点滅)
- ② お好みの感度になったら、ボタンから指を離す。

チャージレベルランプ表示:



種類	検知する	検知することがある
ニオイセンサー	● 線香・調理・ペットのニオイ ● 化粧品、アルコール、スプレー類など	● 湯気(水蒸気)、油煙 ● ドア開閉時の風や、急な温度変化など

次亜塩素酸について

本製品内で生成される「次亜塩素酸水溶液」は、「塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)」や「次亜塩素酸水」とはpHや濃度が異なります。

電解水タンクおよび除菌トレー内の次亜塩素酸水溶液の濃度は200 ppm未満です。200 ppmとはキッチン・台所用などで使用される一般的な塩素系漂白剤の濃度です。

気体化され、本体から放出する「次亜塩素酸」のガス濃度は、塩素ガス濃度0.1 ppm未満です。これは空気中の塩素ガスの環境基準(0.5 ppm^{※1})より低い濃度となります。

次亜塩素酸濃度【ppm=mg/L】

次亜塩素酸水溶液の濃度の目安



※1 EUリスク評価書より

※2 電気分解により生成した次亜塩素酸

電解次亜水の範囲:pH>7.5 (弱アルカリ性)、有効塩素濃度30 ~ 200 ppm

数値は、実際の使用空間での試験結果ではありません。

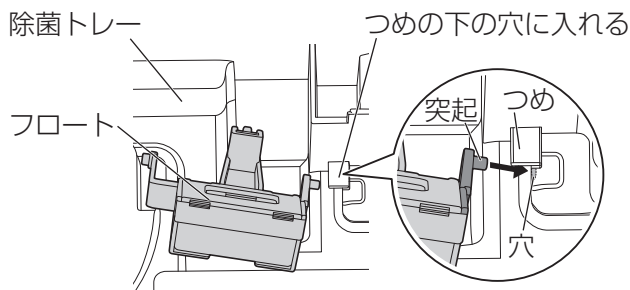
使用環境・お部屋の条件により濃度は異なります。

フロートが外れたとき

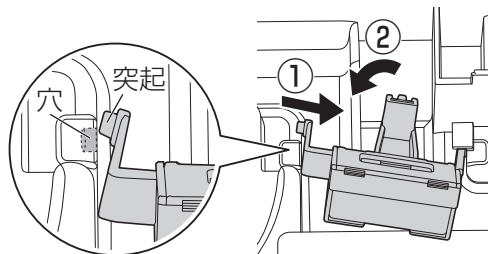
フロートが外れたときの取り付け方

■ 除菌トレー手前のフロートの場合

- 1** つめがある側の除菌トレーの穴にフロートの突起を差し込む

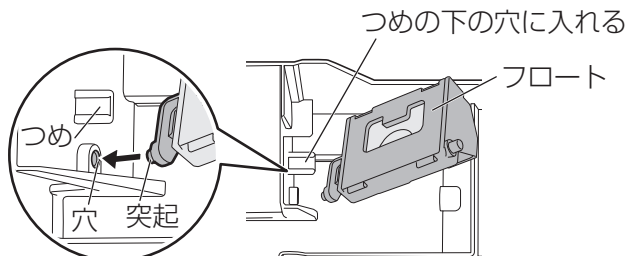


- 2** ① 反対側の突起を、指を使って矢印方向に押しながら、
② 除菌トレーの穴に差し込む

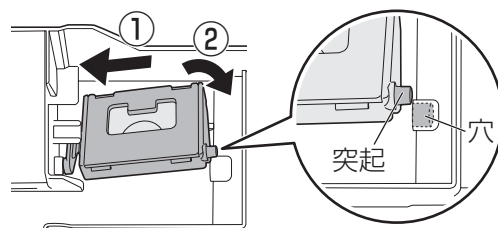


■ その他のフロートの場合

- 1** つめがある側の除菌トレーまたは電解水タンクの穴にフロートの突起を差し込む



- 2** ① フロート全体を矢印方向に押しながら、
② 反対側の突起を穴に差し込む



よくあるお問い合わせ

お問い合わせや、修理を依頼される前に、まずご確認ください。

Q1 給水お知らせ音を消したい

- 1回目からお知らせ音を消したいとき
 - 運転を止め、**急速** と **風量** を同時に約3秒押す。（「ピッ」音で「消音」の設定）
 - 再度鳴らしたいときは、再度、約3秒押す。（「ピー」音で「鳴音」の設定）
- 2回目以降のお知らせ音を消したいとき
 - ① 運転を止め、**チャージレベル** と **急速** を同時に押し続ける。（風量ランプが順次点滅）
 - ② お知らせ音「無し」の設定になったら、ボタンから指を離す。
 - お知らせ音を鳴らしたいときは、同様の手順でお知らせ音「有り」の設定にしてください。

（風量ランプ）

弱 中 強 自動

お知らせ音：無し

お知らせ音：有り

Q2 窓や壁が結露する？

- お部屋が適度な湿度でも、温度が低い窓や壁などでは、結露することがあります。

Q3 風が冷たい

- 水を含んだ除菌フィルターから湿気が出るとき、空気中の熱を奪うため、室温より低い温度の風が出ます。

Q4 除菌トレーの水や、除菌フィルターが変色する？

- 水質などにより変色することがありますが、性能上の問題はありません。

Q5 塩素系(消毒)のニオイがする？

- 次亜塩素酸が汚れや臭気を分解しているためです。塩素系(消毒)のニオイが気になるときはチャージレベルを「低」にしてください。（P.15）それでも気になるときは風量を「弱」にしてください。（P.14）

故障かな!?

まず、次の確認をしてください。それでも直らないときは、必ず、電源プラグを抜いて、販売店またはメンテナンス契約会社に修理をご依頼ください。

こんなときは	ここを確かめてください
①運転を続けても 運転サインが「赤点灯」	●浴室などの湯気や、スプレーから出るガスの影響を受けた場合、赤く点灯することがあります。
②空気が汚れているのに 運転サインが「青点灯」	●汚れを吸い込みにくい場所や、適用床面積より広い部屋に設置していませんか？(P.7、裏表紙) ●センサーの感度が低くありませんか？お好みのセンサー感度に変えられます。(P.26)
③風の出が少ない	●保護エレメントカバー・保護エレメント(HEPAフィルター)(吸気口)が、ホコリなどで目詰まりしていませんか？ →目詰まりを取り除いてください。(P.17) ●除菌フィルターセットに、水あか(スケール・結晶)やゴミが付いていませんか？ →水あか(スケール・結晶)やゴミを取り除いてください。(P.19)
④風が出ない	●運転 切/入 を押してから、20秒経過しましたか？ → 運転 切/入 を押してから、約20秒間は準備運転を行います。(P.14) 20秒経過しても風がまったく出ない場合は、販売店またはメンテナンス契約会社にご連絡ください。 ●前面表示部のランプが点灯していませんか？ →点灯しているランプをご確認・対処してください。(P.10)
⑤塩素系(消毒)のニオイが しない	●保護エレメント(HEPAフィルター)・除菌トレー・除菌フィルター・給水タンクが汚れていたり、古い水を使っていますか？ →保護エレメント(HEPAフィルター)・除菌トレー・除菌フィルター・給水タンクのお手入れをして(P.16、17、18、19)、新しい水道水と入れ替えてください。(P.13) ●チャージレベルが低くありませんか？ →チャージレベルを「高」にしてください。(P.15)
⑥吹出口からの風がにおう	●保護エレメントカバー・保護エレメント(HEPAフィルター)(吸気口)が、汚れていませんか？ →保護エレメントカバー・保護エレメント(HEPAフィルター)(吸気口)をお手入れしてください。(P.17) お手入れしても変わらないときは新しいフィルターと交換してください。 ●除菌トレー・除菌フィルター・給水タンクが汚れていたり、古い水を使っていますか？ →除菌トレー・除菌フィルター・給水タンクのお手入れをして(P.16、18、19)、新しい水道水と入れ替えてください。(P.13) ●給水タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替えていますか？ ●タバコを多く吸う、焼肉など、強いニオイがあるときに使用したり、換気が不十分な喫煙環境で使用した場合は、短い期間で保護エレメント(HEPAフィルター)・除菌フィルターの交換が必要になる場合があります。 →このような使い方をされるときは、お部屋の換気と併用する、喫煙環境では換気の回数を多くすることをおすすめします。
⑦給水タンクの水が減らない	●保護エレメントカバー・保護エレメント(HEPAフィルター)(吸気口)が、ホコリなどで目詰まりしていませんか？ →目詰まりを取り除いてください。(P.17) ●除菌フィルターセットに水あか(スケール・結晶)やゴミが付いていませんか？ →水あか(スケール・結晶)やゴミを取り除いてください。(P.19) ●湿度が高い、または室温が低くありませんか？ →湿度が高いときや寒い日は、給水タンクの水が減りにくくなります。

こんなときは	ここを確かめてください
⑧「カラカラ」と音がする	● ポンプが水をくみ上げる音です。 →故障ではありませんのでそのままご使用ください。
⑨「ポコ」「ポコ」と音がする	● 給水タンクから給水する音です。 →故障ではありませんのでそのままご使用ください。
⑩「チョロチョロ」と水が流れる音がする	● 除菌トレーに水が流れている音です。 →故障ではありませんのでそのままご使用ください。
⑪塩自動ユニット付近から「カリカリ」と音がする	● 塩タブレットの固着防止のため、塩自動ユニットが自動で動いている音です。 →故障ではありませんのでそのままご使用ください。
⑫お手入れリセットができない	● お手入れリセットランプが消灯していませんか？ →除菌トレーに水が残っていると、お手入れリセットランプは点灯せず、リセットできません。お手入れ後は除菌フィルターと除菌トレーの水をよくきってから本体に戻してください。
⑬お手入れしていないのにお手入れリセットランプが点灯する	● 除菌トレーを排水しませんでしたか？ →お手入れ以外で除菌トレーを排水したときもお手入れリセットランプは点灯します。  を約3秒押ししてリセットしてください。(P.11)
⑭給水タンクに水が入っているのに、給水ランプが点灯する	● 除菌トレーは、奥まで確実に取り付けられていますか？ →除菌トレーを確実に取り付けてください。(P.19) ● 本体が、傾いていませんか？ →水平で安定した、床の上に設置してください。 ● フLOATが正しく取り付いていますか？(P.27)

表示部コード一覧

■お手入れ確認ランプが点灯中

下表のコードが表示されます。お手入れを行ってください。

コード	内容
	お手入れ時期(約1か月に1回)のお知らせです。対象の部品をお手入れしてください。(P.17)
	お手入れ時期(約1年に1回)のお知らせです。対象の部品をお手入れしてください。(P.17)

■お知らせランプが点灯中

下表のコードが表示されます。内容欄の処置を行ってください。

コード	内容
	塩タブレットが塩自動ユニット内にありません。塩タブレットを補充してください。(P.13) 塩タブレットが残っている場合は、塩自動ユニット内で詰まっていることがありますので、塩自動ユニットをお手入れしてください。(P.16)
	除菌トレーが外れていることをお知らせしています。正しく取り付いていない場合は、取り付け直してください。(P.19)
	電解水タンクが外れていることをお知らせしています。正しく取り付いていない場合は、取り付け直してください。(P.21)

故障かな!?(つづき)

■点検ランプが点灯中

下記のエラーコードが表示されます。エラーコードを確認してから電源プラグ抜いて、処置方法欄の処置を行ってください。

●本体の異常

エラーコード	原因	処置方法
U10	本体が転倒している。 本体が傾いたり、倒れたことがある。	①本体を起こす。(こぼれた水はふき取る) ②半日以上使わず、置いておく。 (内部に水が入った場合、完全に乾かすため)
	本体の上に磁石や金属物を置いたことがある。	磁石や金属物が載せてある場合は取り除く。

●電極ユニットの異常

エラーコード	原因	処置方法
U11	異物が付着している。	電極ユニットまわりの異物を取り除いてください。(P.20)
U12	正しく取り付けしていない。	電極ユニットのカバーを外し、コネクタの接続を確認してください。(P.25)

●除菌トレー内の異常

エラーコード	原因	処置方法
U16	フロートに異物が付着している。	フロートまわりの異物を取り除いてください。(P.18)
U19	フロートが正しく取り付けしていない。	フロートを確認して正しく取り付けてください。(P.27)
U20	ポンプが汚れているため、 除菌トレーに水がたまっていない。	ポンプの汚れを落としてください。(P.22)

●電解水タンク内の異常

エラーコード	原因	処置方法
U14	フロートに異物が付着している。	フロートまわりの異物を取り除いてください。(P.20)
	フロートが正しく取り付けしていない。	フロートを確認して正しく取り付けてください。(P.27)
U19	仕切り板のポンプが汚れているため、 電解水タンクに水がたまっていない。	仕切り板のポンプの汚れを落としてください。(P.22)
U21	ポンプが正しく取り付けしていない。	ポンプセットを確認して正しく取り付けてください。(P.23)
U22	汚れている。	水を捨ててお手入れしてください。(P.20)

●お手入れリセットランプが点灯している場合は、**お手入れ**を約3秒押してリセットしてください。(P.11)

上記で直らないときは、販売店またはメンテナンス契約会社にご連絡ください。

F**	表示が出たときは、エラーコードをサービスマンにご連絡ください。
-----	---------------------------------

保証とアフターサービス

よくお読みください

使い方・お手入れ・修理などは

■まず、お買い求め先へご相談ください。

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名	
電話	() -
お買い上げ日	年 月 日

修理を依頼されるときは

「よくあるお問い合わせ」「故障かな!？」(27～30ページ)でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と右の内容をご連絡ください。

- 製品名 次亜塩素酸 空間除菌脱臭機
- 品番 F-JDU75/F-JDU55
- 故障の状況 できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従って出張修理いたします。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

(ただし、保護エレメント(HEPA フィルター)、電極ユニット、除菌フィルター、防カビユニットは消耗品ですので、保証期間内でも「有料」とさせていただきます)

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※修理料金は次の内容で構成されています。

- 技術料 診断・修理・調整・点検などの費用
- 部品代 部品および補助材料代
- 出張料 技術者を派遣する費用

※補修用性能部品の保有期間 6年

当社は、この次亜塩素酸 空間除菌脱臭機の補修用性能部品(製品の機能を維持するための部品)を、製造打ち切り後 6 年保有しています。
フィルターなどの消耗品(別売品)とは異なります。

●商品のお問い合わせは、裏表紙に記載のご相談内容に応じた窓口へご連絡ください。

別売品 (サービスパーツ)

(2024年6月現在)

●塩タブレット



品番：F-ZVC10
メーカー希望小売価格：
6,050 円 (税込)

サービスパーツ お取り寄せになります。					
●電極ユニット	●保護エレメント (HEPAフィルター)	●除菌フィルター	●防カビユニット	●ジアイノ用 洗浄剤	
品番：FKA4100020 メーカー希望小売価格： 41,800 円 (税込)	品番：FKA0330215 メーカー希望小売価格： 9,240 円 (税込)	品番：FKA0330206 メーカー希望小売価格： 5,500 円 (税込)	品番：FFJ9180009 メーカー希望小売価格： 1,540 円 (税込)	品番：FKA2000014 メーカー希望小売価格： 3,080 円 (税込)	

各種サービスパーツはこちらで
お買い求めいただけます。

ハイ・パーツショップ
<https://sumai.panasonic.jp/parts/>



必要なとき

仕様

品番 電 源	F-JDU75				F-JDU55			
	交流 100 V 50 / 60 Hz							
運転モード	風量			急速	風量			急速
	強	中	弱		強	中	弱	
消費電力(W)※ ¹	77	48	22	95	48	28	22	58
運転音(dB)	49	43	22	52	43	34	22	46
風量(m ³ /min)	7.5	5.6	2.2	8.1	5.6	3.7	2.2	6.2
連続運転時間(h)※ ²	9.5	12	24	1	12	16	24	1
適用床面積(m ²)※ ³	100 (目安)				75 (目安)			
給水タンク容量(L)					約8.4			
電源コードの長さ(m)					1.8			
製品寸法(mm)					高さ730 × 幅510 × 奥行307			
製品質量(kg)	約19				約18			

※1 コンセントに電源プラグを差した状態で、運転が「切」のときの消費電力は約1.0 Wです。「(クリーニング運転)時は約10 W(最大約22 W)です」

※2 連続運転時間は、室内温度20℃、湿度30%の環境における値です。室内の温度や湿度によって、連続運転時間は変わります。

暖かくて乾燥している方が運転時間は短くなります。「急速」運転は温湿度にかかわらず、1時間運転後、元の運転モードに戻ります。

※3 適用床面積は「強」運転時の面積です。

●この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。

サポート総合窓口

<https://panasonic.jp/support/>



使い方・お手入れなどのご相談窓口



パナは サイチョン
0120-878-314

【受付時間】9:00～18:00

月～土曜日(祝日・正月三が日を除く)

■FAX **0570-044-500**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787
Open: 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays/Sundays/national holidays)

- 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ご使用の回線(IP電話やひかり電話など)によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- 上記のURLはお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。



修理に関するご相談窓口

家電専門店・量販店でご購入されたお客様は



パナは イイヨ
0120-878-554

■上記電話番号がご利用
いただけない場合

03-6633-6700



<https://panasonic.jp/support/repair.html>

住宅会社・工務店・工事店でご購入されたお客様は



パナニ イコー
0120-872-150

■上記電話番号がご利用
いただけない場合

06-6906-1090

【受付時間】月～土 / 9:00～19:00
日・祝日・年末年始 / 9:00～18:00



<https://sumai.panasonic.jp/support/repair/>

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくための発信番号を通知いたしております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用の次亜塩素酸 空間除菌脱臭機の点検を！



こんな
症状は
ありま
せんか

- 水漏れする。
- 電源コードを動かすと、運転が止まる。
- 運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- 本体が異常に熱かったり、こげ臭いニオイがする。
- その他の異常や故障がある。



ご使用
中止

事故防止のため、運転を
停止し、コンセントから
電源プラグを抜いて、
必ず販売店またはメンテ
ナンス契約会社に点検を
ご依頼ください。

パナソニック株式会社

パナソニック エコシステムズ株式会社

〒486-8522 愛知県春日井市鷹来町字下仲田4017番

© Panasonic Ecology Systems Co., Ltd. 2022-2024

Printed in Japan

JDU758950E

F0622I5054